SHARP

取扱説明書

パーソナルコンピュータ

PC-SX1-H1

Mebius

安全にお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。その表示を無視し誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように示しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**	人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
⚠ **注意**	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

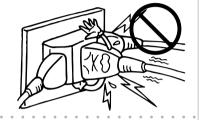
絵表示の意味 （絵表示の一例です）

記号は、してはいけないことを表しています。

記号は、しなければならないことを表しています。

⚠ 警告

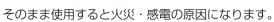
電源は AC100V のコンセントを使用してください。
それ以外の電源で使用すると、火災の原因になります。

電源コードのプラグは、直接コンセントに接続してください。
タコ足配線は過熱し、火災の原因になります。

お客様による分解や修理・改造はしないでください。
故障したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。
また重い物を載せたり、引っ張ったり、ねじったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため火災・感電の原因になります。

万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常が発生した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、バッテリパックを取り外してください。その後、お買い上げの販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

⚠ 注意

本機を持ち運ぶ際は、しっかりと持ち、落とさないようにしてください。
落とすと足をけがすることがあります。

電源コードは、電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

夜間など長時間使用しないときは、安全のために必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

バッテリパックは誤った使い方をすると破裂や発火の原因になります。また、ショートして過熱したり他のものを傷つけることがあります。次のことを必ずお守りください。

- 金属小物（鍵、装飾品など）といっしょにポケットやカバンなどに入れないでください。
- 端子をショートさせないでください。
- 火の中に入れないでください。
- 分解しないでください。

ぬれた手で使用したり、まわりに水など液体の入った容器を置かないでください。
中に水が入ると、火災・感電の原因となることがあります。

本機をぐらついた台の上や不安定な場所に置かないでください。
落ちたりして、けがの原因となることがあります。

目の健康のために、次のことを必ずお守りください。

- 連続して長時間使用される場合は、1 時間ごとに 10 ～ 15 分休憩し、目を休ませてください。
- 操作する場所の明るさは、新聞が楽に読める程度（約500ルクス）が適切です。明暗の差が大きいところでは使用しないでください。
- 戸外の光や照明が画面に反射して見えるところでは、使用しないでください。
- ディスプレイは、目の高さよりやや低く、目から 40 ～ 60cm 離して使用してください。

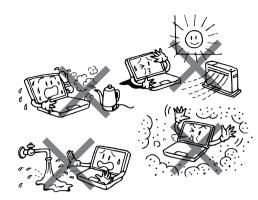
長時間にわたり本機底面をひざの上などに直接触れてのご使用はしないでください。
低温やけどをおこす恐れがあります。

お願い

設置するときのお願い

本機を次のようなところには設置しないでください。

変色・変形・故障の原因になります。

- **直射日光の当たるところや暖房器具の近く**
- **温度が非常に高いところや低いところ**
- **湿度が高いところ**
- **ほこりの多いところ**
- **水などの液体がかかるところ**
- **振動や衝撃などを受けるところ**

通風孔をふさがないでください

本機をじゅうたんや布団の上に置いたり、周りに物を置いたりして、通風孔をふさいで放熱を妨げないでください。本機内部の温度が上がると故障の原因になります。

お使いになるときのお願い

本機の上に重い物をのせたり、押さえ付けたりしないでください。

破損・故障の原因になります。

本機を強くたたいたり、落としたり、裏向けたりして衝撃を与えないでください。

本体およびハードディスクの故障の原因になります。

ディスプレイは傷が付きやすいので、先のとがったもの(シャープペンシル、ボールペンなど)でディスプレイ表面をたたいたり、ひっかいたりしないでください。

雷が鳴り始めたら電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、モデムケーブルを本機から抜いてください。

落雷によって本機が破壊される恐れがあります。

ハードディスクが故障したり、データが消失した場合に備えて、重要なデータは定期的に CD-R やフロッピーディスクなどに保存しておいてください。

お願い

持ち運ぶときのお願い

本機を持ち運ぶときは、次の注意を守ってください。

データが失われたり、ハードディスクの故障の原因になります。

- **電源を切る**
- **本機に接続されている周辺機器やケーブル類はすべて取り外す**
- **衝撃を与えない**
- **ディスプレイを持たない**

10℃以上の温度差がある場所へ急に移動しないでください。

温度が急激に変化するとデータの読み書きが正常に行われない場合があります。

また、温度の低い場所から高い場所に急に移動すると、本体内部に結露が発生します。その場合は、電源を入れずに約 1 時間放置して、露（水滴）が完全に乾いてから、ご使用ください。

TFT 液晶パネルについて

TFT液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上が有効画素ですが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素が存在します。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

電波障害に関するお願い

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオ、テレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときには、次の点にご注意ください。

- この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分離してご使用ください。
- この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
- 使用されるケーブルは指定のものを使用してください。

お願い

充電式電池のリサイクルご協力お願い

この商品、および別売のアドオンバッテリ（CE-BL16）にはリチウムイオン電池を使用しています。
この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。
電池の交換、およびご使用済み商品の廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。

- ご使用済みの電池は、「当店は充電式電池のリサイクルに協力しています。」のステッカーを貼ったシャープ 商品取り扱いのお店へご持参ください。
- リサイクルのときは、次のことにご注意ください。
  - ・端子部にテープを貼る。
  - ・外装カバー（被覆・チューブなど）を剥がさない。
  - ・分解しない。

お客様へのお願い

本パーソナル・コンピュータ「メビウスシリーズ」をご使用いただく前に、下記の契約書をよくお読みください。

このたびは、弊社パーソナル・コンピュータをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
お客様が購入された本パーソナル・コンピュータ「メビウスシリーズ」(以下「本製品」と記載します)にプリインストール または 添付されていますシャープオリジナルソフトウェア(以下「本ソフトウェア」と記載します)をご使用いただく前に下記の契約書をよくお読みください。本契約書にご同意いただけない場合には、本製品を未使用 ・本ソフトウェアの記録媒体のパッケージを未開封のまま本製品をお求めになった販売店にご返却ください。
お客様が本製品を使用された場合、または本ソフトウェアの記録媒体のパッケージを開封された場合には、下記契約書のすべてにご同意いただいたものといたします。本契約書にご同意いただいた方のみ、本ソフトウェアをご使用いただくことができます。

ソフトウェア使用許諾契約書

シャープ株式会社(以下 「弊社」と記載します)は、お客様(法人または個人のいずれであるかを問いません)に、本製品にプリインストールまたは添付されている「本ソフトウェア」を使用する権利を下記条項に基づき許諾します。お客様が本製品を使用された場合、または本ソフトウェアのパッケージを開封された場合には、下記契約書のすべてにご同意いただいたものといたします。

1. 著作権
   (1) お客様は、本契約の条項にしたがって本ソフトウェアを日本国内で使用する、非独占的な権利を本契約に基づき取得します。
   (2) お客様は、本ソフトウェアを、本製品のみでご使用いただけます。
   (3) お客様は、本ソフトウェアのバックアップまたは保存の目的においてのみ本ソフトウェアの全部または一部を一部数に限り複製することができます。ただし、本ソフトウェアの複製物を記録した媒体(フロッピーディスク、CD-ROM等)が本製品に添付されている場合には、お客様は、本ソフトウェアを複製することはできません。この場合、お客様は本ソフトウェアのバックアップまたは保存の目的で、本製品に添付された当該複製物を取り扱うものとします。
   (4) 本条第2項、および第3項にかかわらず、お客様は「EVA アニメータ」に収録されている「EVA アニメータプラグイン」およびサンプル素材集を第三者に自由に配布することができます。
   (5) お客様は「EVA アニメータ」に収録されているサンプル素材集を自由に加工して使用することができます。

2. 権利の許諾
   (1) 本ソフトウェアに関する著作権等の知的財産権は、弊社に帰属 又は 第三者から正当なライセンスを得たものであり、本ソフトウェアは日本の著作権法その他関連して適用される法律等によって保護されています。したがってお客様は、本ソフトウェアを他の著作物と同様に扱わなければなりません。
   (2) 本ソフトウェアとともにお客様に提供されるマニュアルおよび取扱説明書等の関連資料(以下「関連資料」と記載します)の著作権は、弊社に帰属し、これら関連資料は日本の著作権法その他関連して適用される法律等によって保護されています。お客様はこれら関連資料を複製することはできません。

3. 制限事項
   (1) お客様は、本ソフトウェアのリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。
   (2) お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合を除いて、本ソフトウェアの使用、全部または一部を複製、改変等をすることはできません。
   (3) お客様は、本ソフトウェアおよび関連資料に付されている著作権表示およびその他の権利表示を除去することはできません。上記(2)に基づき本ソフトウェアを複製する場合には、本ソフトウェアに付されている著作権表示およびその他の権利表示も同時に複製するものとします。
   (4) お客様は、本ソフトウェアを第三者に使用許諾、貸与またはリースすることはできません。
   (5) 第1条第4項および第5項にかかわらず、「EVA アニメータ」に収録されている「EVA アニメータプラグイン」およびサンプル素材集の全部または一部をそのまま、もしくは改変し、商品として製造・販売することはできません。

4．本ソフトウェアの譲渡

お客様は、下記のすべての条件を満たした場合に限り、本ソフトウェアの本契約に基づく使用権を第三者に譲渡することができます。

i）お客様が本契約書、本ソフトウェアを含む本製品、本ソフトウェアのすべての複製物およびその記録媒体、ならびに関連資料を含む本製品のすべてを譲渡し、これらを一切保持しないこと。

ii）譲受人が本契約に同意していること。

5．限定保証

（1）弊社は、本ソフトウェアに関していかなる保証も行いません。したがって、本ソフトウェアに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任および費用負担により解決されるものとします。

（2）上記（1）にかかわらず、お客様が必要事項を記入した 別添のユーザー登録／愛用者カードまたはオンラインユーザー登録を弊社まで返送された場合において、最初にご購入されたお客様が本製品をご購入された後１年以内に、弊社が本ソフトウェアの誤り（バグ）を修正した場合には、弊社はお客様に対して、修正されたソフトウェア、修正のためのソフトウェア（以下、これらのソフトウェアを「修正ソフトウェア」と記載します）、またはこのような修正に関する情報を提供いたします。ただし、修正ソフトウェアまたはこのような修正に関する情報の提供の必要性、提供時期、提供方法等に関しては、すべて弊社の裁量により決定させていただきます。お客様に提供された修正ソフトウェアは本ソフトウェアとみなします。

（3）本ソフトウェアの記録媒体に物理的欠陥（ただし、プログラムおよび／またはデータの読み出しが不可能な場合に限ります）があり、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合、最初のお客様が本製品を購入された日から14日以内に本製品の保証書を添えてお求めになった販売店に当該記録媒体を返却された場合には、弊社は無償で当該記録媒体を同等の記録媒体と交換するものとします。

本項の規定をもって本ソフトウェアの記録媒体に関する弊社の保証のすべてといたします。

6．責任の制限

（1）弊社は、いかなる場合も、お客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます）および第三者からお客様になされた損害賠償等の請求による損害について、一切責任を負いません。

（2）いかなる場合においても、本契約に基づく弊社の責任はお客様が実際にお支払いになった本製品の代金のうち本ソフトウェアの代金相当額をその上限とします。

7．契約の期間

本契約は、お客様が本製品を使用されたとき、または 本ソフトウェアの記録媒体のパッケージを開封されたとき発効し、下記８．により本契約が終了するまで有効であるものとします。

8．契約の終了

（1）お客様は、書面により事前に弊社まで通知することにより、いつでも本契約を終了させることができます。

（2）弊社は、お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、お客様に対し何らの通知・催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。

（3）上記（2）の場合、弊社は、お客様によって被った損害をお客様に請求することができます。

（4）お客様は、本契約が終了したときは、直ちに本ソフトウェアおよびそのすべての複製物ならびに関連資料を破棄するものとします。

9．その他

（1）お客様は、いかなる方法および目的によっても、本ソフトウェアおよびその複製物を日本国外に輸出してはなりません。

（2）本契約に関連または起因する紛争は、大阪地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

シャープ株式会社　情報システム事業本部

〒639-1186

奈良県大和郡山市美濃庄町 492 番地

電話（0743）53-5521 番

はじめに

このたびは、シャープパーソナルコンピュータをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この製品は厳重な品質管理と製品検査を経て出荷しておりますが、万一故障や不具合がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。
付属の「保証書」の定めるところによって修理を行います。

ご使用前のおことわり

- この製品を正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。またこの取扱説明書は、いつも手元に置いてご使用ください。ご使用中にわからないことや、具合の悪いことがおきたとき、きっとお役に立ちます。
- 当社は、この製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 当社は、この製品においてソフトウェアを使用された結果に関して、いかなる保証も致しかねますのであらかじめご了承ください。
  なお、ソフトウェアのご使用に際しては、そのソフトウェアの提供者の使用条件が明示されているときは、必ずそれらの使用条件をご確認ください。
- お客様または第三者が、この製品の使いかたを誤ったときや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときや電池交換の方法を誤ったときは、記憶内容が変化・消失する恐れがあります。
  重要な内容は、必ず CD-R やフロッピーディスクなどの記録媒体に記録し保管してください。
- 本書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載、あるいは複製することはお断りします。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

商標、登録商標

・Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。また、Windows Mediaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。
・Crusoe、LongRun、Code Morphing はトランスメタ社の商標です。
・RAGE は、ATI Technologies, Inc. の商標です。
・K56flex は、Lucent Technologies 社と Rockwell International 社の商標です。
・cdmaOne は、CDG（CDMA Development Group）の商標です。
・ドッチーモは、NTT ドコモより登録商標出願中です。
・CompactFlash（コンパクトフラッシュ）、CFは、米国SanDisk Corporationの商標です。
・スマートメディアは、株式会社東芝の商標です。
・SD ロゴは商標です。
・筆王は、株式会社アイフォーの登録商標です。
・PowerQuest は、PowerQuest Corporation の登録商標です。
・EasyRestore は、PowerQuest Corporation の商標です。
・DION は、KDDI 株式会社の登録商標です。
・@nifty は、ニフティ株式会社の商標です。
・AOL は、AOL の登録商標です。
・ODN は、日本テレコム株式会社の登録商標です。
・BIGLOBE は、日本電気株式会社の登録商標です。

その他、製品名などの固有名詞は各社の商標、または登録商標です。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。
『国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効果的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。』

準備と確認（この説明書の読み方と電源の入れ方）

インターネット（インターネットを楽しもう）

データ転送（データをやりとりしよう）

AV（音楽を楽しもう）

基本操作（操作のしかたを確かめよう）

周辺機器（周辺機器を接続しよう）

付録

準備と確認

この説明書の読み方と電源の入れ方

知りたい操作からお読みいただけるように、この説明書は目的別の章構成になっています。電源の入れ方と切り方については、この章でご確認ください。

この説明書の読み方

この説明書は目的別構成になっています。電源を入れた後は、操作したい内容の章からお読みください。

インターネットを楽しもう［インターネットの章］

インターネットに接続したい、というときにお読みください。携帯電話でインターネットに接続する方法についても説明しています。

データをやりとりしよう［データ転送の章］

データをやりとりしたい、というときにお読みください。PCカードなどの利用や無線ネットワークなど、いろいろな方法があります。

音楽を楽しもう［AVの章］

音楽を聴きたいというときにお読みください。外部スピーカで聴くとき、オーディオ機器に接続するときの操作も紹介しています。

操作のしかたを確かめよう［基本操作の章］

このパソコンの基本的な操作を知りたい、というときにお読みください。

ACアダプタを外して使用するときは、冒頭の「バッテリを使いこなす」を必ずお読みください。また、大切なデータをバックアップする方法も紹介しています。

周辺機器を接続しよう［周辺機器の章］

周辺機器と接続してパソコンを活用したい、というときにお読みください。

プリンタに接続して印刷したり、PCカードなどを使って機能を拡張する方法などを紹介しています。

付録

操作中にパソコンが動作しなくなったり、思った結果にならないときは「故障かな？と思ったら」をお読みください。また、ハードディスクの内容をご購入時の状態に戻す方法も紹介しています。

「各部の名称」と「さくいん」から、操作説明を探すこともできます。

この説明書の表記方法

この説明書で使用している記号について

⚠ 注意	無視すると、使用者が損害を負う可能性のある注意事項を記載しています。
ご注意	パソコンや周辺機器の故障の原因になる注意事項を記載しています。
	参考情報や関連事項、操作上の制限事項などを記載しています。
	知っておくと便利なパソコンの基礎知識などを記載しています。
☞	この説明書の参照ページや、参照する他の説明書を示します。

キーの表示について

キーボードのキーを押す操作では、キーを枠で囲んでいます。

また、複数のキーを同時に押すときは、「+」でつないで表記しています。

例）**Fn** + **F5**

画面上のボタンについて

画面に表示されるボタン（ OK など）は、［　］で囲んで表記しています。

例）［OK］をクリックします。

画面上のメニュー項目などについて

メニュー項目や、画面やアイコンの名称などは「　」で囲んで表記しています。

例）• スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックします。

• 「画面のプロパティ」画面が表示されます。

文字入力について

キーボードを使って文字を入力する内容は、太字または「　」で囲んで表記しています。特に指定がない限り半角文字を入力してください。

文字入力に大文字・小文字の区別はありませんが、本書では大文字で表記しています。

例）C:¥MNMANUAL¥SAMPLE.BMP と入力します。

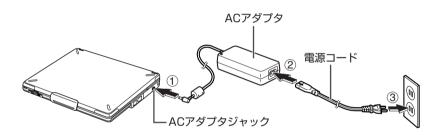
準備 電源の入れ方・切り方

基本的な電源の入れ方と切り方を確認しましょう。
初めて電源を入れるときは、「はじめにお読みください」（別冊）を参照してください。

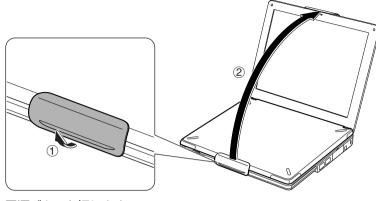
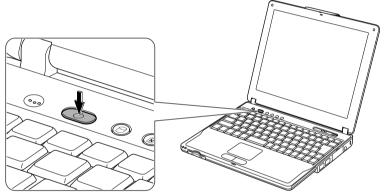
電源を入れる

1 パソコンを電源コンセントに接続します。

下図のように、付属の電源コードと AC アダプタを使って接続します。

① ACアダプタのコネクタを、パソコンのACアダプタジャックに「カチッ」と音がするまで差し込みます。
② 電源コードを、AC アダプタに接続します。
③ 電源コードのプラグを、コンセントに差し込みます。

ご注意

- ①②③ の各接続部はしっかりと奥まで差し込んでください。
- AC アダプタは、必ずこのパソコンの付属品（EA-J03V）または専用の別売品を使用してください。他のACアダプタは、パソコンを破損することがあります。

2 ディスプレイフックを引き上げて（①）、ディスプレイを開きます（②）。

3 電源ボタンを押します。

⏻ ランプが緑色に点灯し、Microsoft Windows Millennium Edition（以下 Windows Me と表記します。）が起動します。

ご参考

一定時間パソコンを操作しないでいると、節電機能が働いて画面の表示が消えます。何らかのキーを押すか、パッド型ポインティングデバイスを操作すると、再び表示されます。

電源を切る

ご注意

- ランプが点灯中は、電源を切らないでください。データが失われたり、破壊されることがあります。（☞174、175 ページ）
- 再び電源を入れるときは、必ず5秒以上の間隔をおいてください。連続して電源を切ったり入れたりすると、故障の原因になります。

1 ［スタート］ をクリックします。

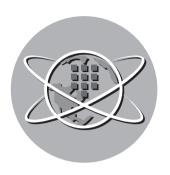
スタートメニューが表示されます。

2 「Windows の終了」 をクリックします。

3 「終了」 が選択されていることを確認し、［OK］ をクリックします。

パソコンの電源が切れ、 ランプが消えます。

4 「カチッ」 と音がするまでディスプレイをゆっくりと閉じます。

インターネット

インターネットを楽しもう

インターネットを楽しむといっても人それぞれ・・・
世界中の情報を見るだけでなく、チケットの予約やさまざまなショッピングもできます。また、インターネットで知り合った友達とメールをやりとりしたり、ホームページを作って公開することもできます。いろいろ試して、自分らしい楽しみ方を見つけましょう。

インターネットの準備をする

インターネットは、世界中のコンピュータをつないでいるネットワークです。このネットワークを利用して、ホームページを見たり、電子メールをやりとりすることができます。

インターネットに接続するための準備をしましょう

「はじめにお読みください」（別冊）でシャープへのオンラインユーザ登録時にSharp Space Townへの入会（無料体験、または正式入会）申し込み

- した
- していない → 次へ

した の場合：

パソコンを設置します

電話回線やコンセントの位置を確認して、パソコンを置く最適な場所を決めて、パソコンを設置します。**パソコンを設置する**（☞24ページ）を参照してください。

お使いの電話回線に接続します

- 家庭用一般電話回線（アナログ回線）
  家庭用一般電話回線に接続する（☞25ページ）を参照してください。
- ISDN回線など（デジタル回線）
  デジタル回線に接続する（☞28ページ）を参照してください。
- 携帯電話
  携帯電話でインターネットに接続する（☞37ページ）を参照してください。
- 「0」などの外線発信番号が必要
  外線発信番号が必要な電話回線を使用する（☞34ページ）を参照してください。

していない の場合：

Sharp Space Townへ オンライン で入会（無料体験、または正式入会）申し込み

- する
- しない

する の場合：

パソコンを設置します

電話回線やコンセントの位置を確認して、パソコンを置く最適な場所を決めて、パソコンを設置します。**パソコンを設置する**（☞24ページ）を参照してください。

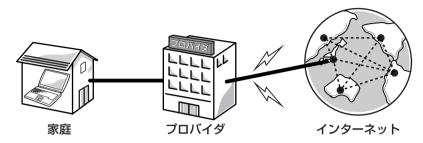
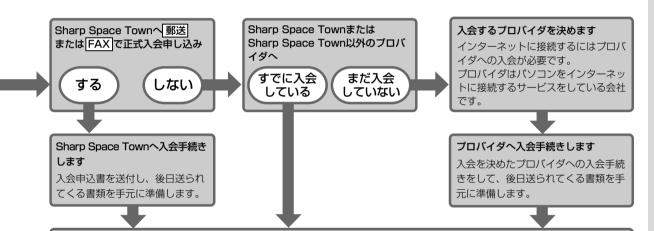
家庭用一般電話回線（アナログ回線）に接続します

家庭用一般電話回線に接続する（☞25ページ）を参照して、電話回線を接続してください。「0」などの外線発信番号が必要な場合は、**外線発信番号が必要な電話回線を使用する**（☞34ページ）を参照してください。

Sharp Space Townへ オンライン で入会申し込みします

Sharp Space Townへオンラインで入会申し込みするためには**「入門ガイド～インターネット&メール～」**（別冊）を参照してください。

Sharp Space Town（シャープスペースタウン）とは ....

「Sharp Space Town」は、シャープが運営しているインターネット接続プロバイダです。国内最大級のバックボーンネットワークをはじめ、さまざまなサービスを提供しています。

パソコンを設置します

電話回線やコンセントの位置を確認して、パソコンを置く最適な場所を決めて、パソコンを設置します。**パソコンを設置する**（☞24ページ）を参照してください。

お使いの電話回線に接続します

- 家庭用一般電話回線（アナログ回線）.............**家庭用一般電話回線に接続する**（☞25ページ）を参照してください。
- ISDN回線など（デジタル回線）......................**デジタル回線に接続する**（☞28ページ）を参照してください。
- 携帯電話 ....**携帯電話でインターネットに接続する**（☞37ページ）を参照してください。
- 「0」などの外線発信番号が必要 ....**外線発信番号が必要な電話回線を使用する**（☞34ページ）を参照してください。

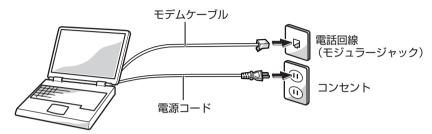
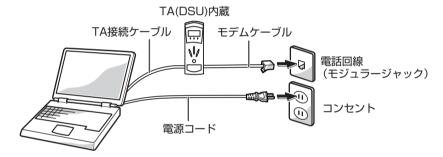
パソコンを設定します

インターネット接続のための設定をします。プロバイダに入会すると、あなたのユーザIDやパスワードが連絡されてきますので、それらを設定します。設定方法については、各プロバイダの説明書を参照してください。

インターネットに接続する準備が整いました。インターネットに接続してホームページを見たり、電子メールを送受信するためには「入門ガイド～インターネット＆メール～」（別冊）を参照してください。

パソコンを設置する

電話回線に接続する前にパソコンを設置する場所を決めましょう。「設置するときのお願い」(☞5ページ)をよくお読みになり、付属のモデムケーブルや電源コードの長さを考えて、最適な場所にパソコンを置いてください。

家庭用一般電話回線（アナログ回線）の場合

デジタル回線の場合

ご参考

設置する場所により、付属のモデムケーブルが短い場合は、市販の電話線（モデムケーブル）をお買い求めください。

モデム

パソコンのデータ（デジタル信号）を、一般の電話回線で送ることのできる音（アナログ信号）に変換する装置です。受信するときは逆に、アナログ信号をデジタル信号に変換します。

DSU（Digital Service Unit ／回線接続装置）

ISDN回線などのデジタル回線を利用するためには、DSUと呼ばれる装置に接続する必要があります。このDSUにターミナルアダプタ（TA）などのデジタル対応の通信装置を接続することで、デジタル回線が利用できます。最近のTAにはこのDSUが内蔵されているものが多くあります。

電話回線に接続する

電話回線には家庭用一般電話回線(アナログ回線)と、ISDN回線などのデジタル回線があります。それぞれの接続方法は異なりますので、手順に従って接続してください。

家庭用一般電話回線に接続する

パソコンを家庭用一般電話回線に接続するには、付属のモデムケーブルを使って、パソコンのモデムジャックと壁のモジュラージャックを接続します。

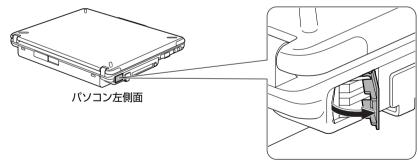
ご注意

内蔵モデムは家庭用一般電話回線(アナログ回線)専用です。以下のようなデジタル回線には接続しないでください。故障の原因となります。

- ISDN 回線
  (TA(ターミナルアダプタ)を経由して接続してください。)
- 構内交換機(PBX)のデジタル回線
- 公衆電話のデジタル(ISDN)回線

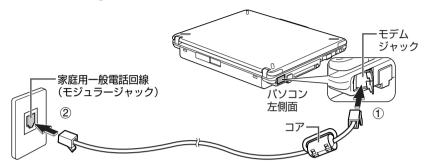
1 パソコンの電源を切ります。

2 パソコン左側面のモデムジャックカバーを引き起こします。

パソコン左側面

3 パソコンを家庭用一般電話回線に接続します。

付属のモデムケーブルのコアのある方のコネクタを、パソコンのモデムジャックに差し込みます(①)。もう一方のコネクタを、壁のモジュラージャックに差し込みます(②)。

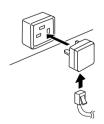
4 パソコンの電源を入れます。

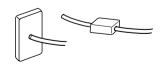
ご注意

パソコンにモデムケーブルを接続しているときは、モデムケーブルを強く引っ張らないでください。故障の原因となります。

ご参考

- **モジュラータイプ以外の電話回線で使うには**

3 ピンや 4 ピンの場合には

3ピンや4ピンのジャック形のときは、市販の変換アダプタを取り付けてください。

ローゼットタイプの場合は

差し込み式になっていないときは、最寄りのNTTに連絡して、モジュラージャックの取り付け工事を依頼してください。電話工事資格を持たない人が工事を行うことは認められていません。

ご参考

- **直接、パソコンとモジュラージャックを接続してください**
  電話やファクシミリを経由して接続すると、正しく通信できないことがあります。

内蔵モデムを使用するときの準備

内蔵モデムを使用するためには、次の準備が必要です。

- 付属のモデムケーブルでパソコンを電話回線に接続する。（☞25 ページ）
- 「電源の管理のプロパティ」画面で「システムスタンバイ」および「システム休止状態」を「なし」にする。
- インターネットの接続設定や通信ソフトウェアの設定でモデムやCOMポートの選択が必要な場合は、以下のように設定する。

  モデム名　　：Lucent Technologies Soft Modem AMR
  COM ポート　：COM3

内蔵モデムの通信速度について

このパソコンの内蔵モデムは、「V.90」および「K56flex」方式を採用しています。

- 最大通信速度は受信時と送信時で異なります。受信時は56,000bps(理論値)、送信時は 33,600bps です。(bps=bit per second ; ビット／秒)
- 接続先（プロバイダなど）が「V.90」または「K56flex」に対応していない場合、最大通信速度は送受信とも 33,600bps になります。
- 電話回線および接続先(プロバイダなど)の状況によっては、通信速度が遅くなることがあります。
- 内蔵モデムはソフトウェアモデムを採用していますので、使用状態によってはPCカードモデムや外付けモデムに比べて通信速度が遅くなることがあります。

ご注意　内蔵モデムを海外で使用しないでください

内蔵モデムは、日本国内での使用を目的に設計されています。
国によって電話回線の仕様が異なるため、海外の電話回線に接続すると誤動作や故障の原因になります。

ご参考

- 内蔵モデムの認証番号については、仕様一覧(別紙)を参照してください。
- 内蔵モデムの交換修理については、修理窓口にご依頼ください。(お客様サポートシステムのご案内☞別冊)

デジタル回線に接続する

パソコンをデジタル回線(NTTなどのISDN回線)に接続するには、TA(ターミナルアダプタ)と呼ばれる機器が別途必要です。TAとの接続方法や設定方法についてはTAの説明書を参照してください。

使用する電話回線を設定する

パソコンの内蔵モデムを使用するには、電話回線の設定が必要です。

1 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「モデム」アイコンをダブルクリックします。**

「モデムのプロパティ」画面が表示されます。

「モデム」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 **[ダイヤルのプロパティ] をクリックします。**

「所在地情報」が表示されます。

3 **登録名、国名、市外局番、ダイヤル方法などを設定します。**

登録名

「会社」「自宅」など、わかりやすい名前を付けると便利です。

国名／地域

「日本」を選択します。

市外局番

使用する場所の市外局番を半角で入力します。

外線発信番号

「0」などの外線発信番号が必要なときに半角で入力します。（☞34 ページ）

ダイヤル方法

使用する電話回線に合わせて、「トーン」または「パルス」を選びます。お使いの電話機（親機）でダイヤル中に「ピッポッパ」と聞こえるときはトーン式、「ジジジ」または「タタタ」と聞こえるときはパルス式です。

ダイヤル方法がわからない場合は、ご契約の電話会社（NTTなど）にお問い合わせください。

4 **[OK] をクリックして「モデムのプロパティ」画面に戻ります。**

5 **[OK] をクリックして画面を閉じます。**

6 **画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

複数の電話回線を使い分ける

複数の電話回線を利用するときは、内蔵モデムをそれぞれに合った設定にする必要があります。たとえば、会社ではトーン式、自宅ではパルス式の電話回線を使うときなどは、それぞれの設定を登録し、接続する前に切り替えて使用します。

新しく使用する電話回線の設定を登録する

1 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「モデム」アイコンをダブルクリックします。**

「モデムのプロパティ」画面が表示されます。

「モデム」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 **[ダイヤルのプロパティ] をクリックします。**

「所在地情報」が表示されます。

3 **[新規] をクリックします。**

4 **「新しい場所が作成されました」と表示されたら、[OK] をクリックします。**

5 **「登録名」欄に登録名を入力します。**

「会社」「自宅」など、わかりやすい名前を付けると便利です。

6 国名、市外局番、外線発信番号、ダイヤル方法などを設定します。(☞**29ページ**)

7 [OK] をクリックして「モデムのプロパティ」画面に戻ります。

8 [OK] をクリックして画面を閉じます。

9 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

電話回線の設定を切り替える

1 スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「モデム」アイコンをダブルクリックします。

「モデムのプロパティ」画面が表示されます。

「モデム」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 [ダイヤルのプロパティ] をクリックします。

「所在地情報」が表示されます。

3 「登録名」の ▼ をクリックし、利用する電話回線に合った登録名を選びます。

4 ［OK］をクリックして「モデムのプロパティ」画面に戻ります。

5 ［OK］をクリックして画面を閉じます。

6 画面右上の ✕ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

外線発信番号が必要な電話回線を使用する

内蔵モデムを使って構内交換機（PBX）から外線にダイヤルするとき、「0」などの外線発信番号が必要な場合があります。外線発信番号が必要な回線を利用するときは、次のように設定してください。

ご参考

下記の設定をしても、インターネットに接続できない場合は、外線直通の電話回線に接続してください。

1 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「モデム」アイコンをダブルクリックします。**

「モデムのプロパティ」画面が表示されます。

「モデム」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 **［ダイヤルのプロパティ］をクリックします。**

3 **登録名、国名、市外局番、外線発信番号、ダイヤル方法などを設定します。**

外線発信番号

「0」などの外線発信番号が必要なときに半角で入力します。「0」に続けて「,」(カンマ)を入力しておくことをお勧めします。「,」(カンマ)を入力しておくと、構内交換機(PBX)が外線に切り替わる間、次の番号をダイヤルせずに待つことができます。「,」(カンマ)の数を増やすと待ち時間が長くなります。

外線発信番号以外の項目 (☞29 ページ)

4 **[OK] をクリックして「モデムのプロパティ」画面に戻ります。**

5 **「Lucent Technologies Soft Modem AMR」が選択されていることを確認し、[プロパティ] をクリックします。**

6 **「接続」タブをクリックし、[詳細設定] をクリックします。**

7 「追加設定」欄に「ATX3」と入力し、[OK] をクリックします。

8 [OK] をクリックして「モデムのプロパティ」画面に戻ります。

9 [閉じる] をクリックして画面を閉じます。

10 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

インターネット 携帯電話でインターネットに接続する

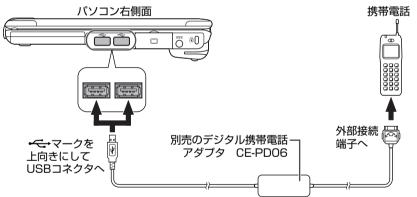
別売のデジタル携帯電話アダプタ(CE-PD06)を使うと、携帯電話を使ってインターネットに接続することができます。

ご参考

デジタル携帯電話アダプタ(CE-PD06)を初めて使うときは、パソコンにデジタル携帯電話アダプタ（CE-PD06）を接続する前に別売のCD-ROMドライブユニット(CE-CD02)、またはフロッピーディスクドライブユニット（CE-FD04）を接続しておいてください。

1 **携帯電話の電源を切ります。**

2 **パソコンと携帯電話をデジタル携帯電話アダプタで接続します。**

USBコネクタはパソコン左側面に1つ、右側面に2つあります。ここではパソコン右側面を例に説明しますが、どのUSBコネクタに接続してもかまいません。

3 **携帯電話の電源を入れます。**

ご参考

- デジタル携帯電話アダプタ（CE-PD06）は、9600bpsデータ通信に対応したデジタル携帯電話専用です。cdmaOne/PHS(簡易型携帯電話）およびアナログ携帯電話は使用できません。
- デジタル携帯電話アダプタと携帯電話との接続方法／取り外し方法および注意事項などについては、携帯電話およびデジタル携帯電話アダプタの説明書を参照してください。
- 接続できるデジタル携帯電話の機種については、メビウスのホームページ（http://www.sharp.co.jp/mebius/products.html）を参照してください。

携帯電話でインターネットに接続するときの準備

携帯電話を使ってインターネットに接続するためには、次の設定が必要です。

- デジタル携帯電話アダプタに付属のドライバ（SHARP MultiMobile2 ドライバ）をパソコンにインストールする。
  「SHARP MultiMobile2 ドライバ」のインストールには、別売の CD-ROM ドライブユニット（CE-CD02）またはフロッピーディスクドライブユニット（CE-FD04）が必要です。
  パソコンに初めてデジタル携帯電話アダプタを接続したときは、「新しいハードウェアの追加」ウィザードが表示されます。デジタル携帯電話アダプタの説明書を参照して、SHARP MultiMobile2 ドライバをインストールしてください。
- 「電源の管理のプロパティ」画面で「システムスタンバイ」および「システム休止状態」を「なし」にする。
- インターネットの接続設定をする。（☞ 下記）

インターネットの接続設定をする

携帯電話を使ってインターネットに接続するときは、改めて携帯電話用の接続設定をする必要があります。

ここでは、すでにプロバイダと契約している場合を例に説明します。お手元にプロバイダ発行の会員情報（ユーザー名［ID］、パスワード、メールアドレスなど）を用意してください。

1 **スタートメニューから「プログラム」－「アクセサリ」－「通信」－「インターネット接続ウィザード」をクリックします。**

2 **「インターネット接続を手動で設定するか、ローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選択し、［次へ］をクリックします。**

3 **「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択し、［次へ］をクリックします。**

4 **使用するモデムに「SHARP MultiMobile2」を選択し、［次へ］をクリックします。**

5 「国番号と市外局番を使用してダイヤルする」をクリックしてチェックマークを外します。

6 アクセスポイントの電話番号を市外局番から半角で入力し、[次へ]をクリックします。

NTT ドコモのドッチーモを使って PHS モードで接続する場合

- PIAFS対応のアクセスポイントの電話番号を入力し、末尾に以下の文字を入力してください。
  ・64kbps で接続する場合：##16
  ・32kbps で接続する場合：##13
- DNSサーバを設定する必要がある場合は、[詳細設定]をクリックします。詳しくは、プロバイダの説明書を参照してください。

7 インターネットに接続するときのユーザー名とパスワードを入力し、[次へ]をクリックします。

8 ダイヤルアップ接続名を入力し、[次へ] をクリックします。
ここまで設定した内容(使用するモデム、電話番号、インターネットのアカウントに関する情報など)は、すべてダイヤルアップ接続として保存されます。接続名には、「携帯電話用」などわかりやすい名前をつけてください。

9 メールアカウントの設定をする場合は「はい」、しない場合は「いいえ」を選択し、[次へ] をクリックします。

10 手順 9 で「はい」を選択した場合、画面の指示に従って必要な設定をします。
詳しくは、各プロバイダの説明書を参照してください。
手順9で「いいえ」を選択した場合、[完了]をクリックして、インターネット接続ウィザードを終了します。

インターネットに接続するには

インターネット接続ウィザード（☞前ページの手順**10**）で、［完了］をクリックすると「接続」画面が表示されます。

欄に登録した接続名（☞前ページの手順**8**）が表示されていることを確認して［接続］をクリックします。

カード型 PHS でインターネットに接続する

市販の PC カード型 PHS、またはコンパクトフラッシュ（CF）カード型 PHS を使うと、外出先などからインターネットに接続することができます。

PCカード型
PHS

コンパクトフラッシュカード型PHS

ご参考

- カード型PHSの取り付け方／取り外し方については、**PCカードを使う**（☞121 ページ）を参照してください。
- NTT ドコモのP-in Comp@ct 用デバイスドライバは、このパソコンのハードディスクにあらかじめ保存されています。
- カード型PHSの使い方などについてはカード型PHSの説明書を参照してください。
- コンパクトフラッシュカード型PHSを使うには、コンパクトフラッシュカード用 PC カード型アダプタが必要です。

毎日新聞ニュースを読む

ここでは、メビウステロッパーを使って毎日新聞ニュースを読む方法について説明します。

毎日新聞ニュースとは

毎日新聞社が配信しているインターネットニュースです。スポーツニュースや社会記事などが随時更新されています。

メビウステロッパーとは

インターネットに接続したときに、ニュースを自動的に取得してテロップ表示するソフトウェアです。簡単なテキストファイルをコンピュータに保存しておいて、そのテキスト情報をテロップ表示させることもできます。また、テロップ表示中のテキストを音声で読み上げることもできます。

毎日新聞ニュースを読む

毎日新聞ニュースを取得するように設定する

1 **スタートメニューから「プログラム」－「SHARP メビウステロッパー Ver.x.x」－「メビウステロッパー」をクリックします。**
メビウステロッパーが起動されます。

2 **[設定] をクリックし、「インターネットニュース」をクリックします。**

3 **「ダイヤルアップ接続時に自動的にニュースを取得する。」をクリックしてチェックマークを付けます。**

4 **[OK] をクリックします。**

毎日新聞ニュースを読む

メビウステロッパーは、パソコンがインターネットに接続されると自動的に専用のサーバに接続し、ニュースを取得します。メビウステロッパーがニュースを取得すると、タスクバーに が表示されます。

取得した毎日新聞ニュースを読むには、タスクバーの をクリックします。メビウステロッパーが起動し(すでに起動されているときは最前面に表示され)、ニュースがテロップ表示されます。いったん取得したニュースは、インターネットに接続していない状態でも読むことができます。

毎日新聞ニュースは、インターネットに接続されるたびに自動的に更新されます。

ご参考

- 毎日新聞ニュースを取得していない場合は、ニュース記事の代わりに「回線が接続されていないため、データが取得できません。」などと表示されます。
- テロップ表示中に赤色の文字をクリックすると、毎日新聞のホームページを表示させることができます。

- すでにインターネットに接続されている状態で「チャンネル」をクリックし、「毎日新聞ニュース」をクリックすると、新しいニュースに更新されます。

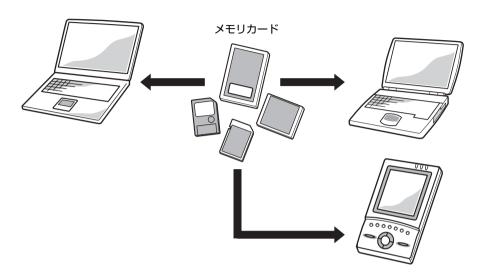
メビウステロッパーの設定を変更する

メビウステロッパーでニュースを取得する間隔や、テロップ表示の文字の大きさや色などをお好みにあわせて変更することができます。また、テロップ表示中のテキストを音声で読み上げることもできます。詳しくはメビウステロッパーのヘルプを参照してください。

データ転送

このパソコンで作ったデータを、もう一台のパソコンに移したい。自分のパソコンを、会社のネットワークに接続して活用したい。デジタルカメラで撮った画像を、パソコンに取り込みたい……この章では、そんなとき必要なデータのやりとりの方法を紹介します。

メモリカードでデータをやりとりする

デジタルカメラで撮影した画像を取り込んだり、他のパソコンやザウルス（MI-E1）とデータをやりとりするためには、メモリカードを使用すると便利です。

メモリカードには、以下のような種類があります。

PC カード型メモリカード

フラッシュメモリが内蔵されたカードです。フラッシュメモリとはROMと呼ばれる読み出し用メモリの一種で、電気的にデータの消去や書き込みができます。電源が供給されていなくても記録が消されることがないので、PC カード型メモリカードにデータを書き込めば、他のパソコンなどとデータをやりとりできます。

コンパクトフラッシュカード

PC カード型メモリカードと同じく、フラッシュメモリが内蔵されたカードです。コンパクトフラッシュカードにデータを書き込めば、他のパソコンなどとデータをやりとりできます。

SD カード

米国 Siemens 社と米国 SanDisk 社が共同開発したメモリカードです。「SDMI規格」という著作権保護機能が付いています。

スマートメディア 	東芝が開発し、富士写真フイルムなど5社が提唱するメモリカードです。スマートメディアはコンパクトフラッシュと並んで、デジタルカメラなどで使用されるメモリカードのひとつです。

このパソコンでメモリカードを使用するには

● PC カード型メモリカード
　PC カードスロットに差し込みます。（☞121 ページ）

● コンパクトフラッシュカード
　市販のコンパクトフラッシュカード用 PC カード型アダプタにセットして、PC カードスロットに差し込みます。（☞121 ページ）

● SD カード　SD カードスロットに差し込みます。（☞127 ページ）

● スマートメディア　スマートメディアスロットに差し込みます。（☞125 ページ）

メモリカードは、デスクトップの「マイコンピュータ」の中に、ドライブとして表示されます。

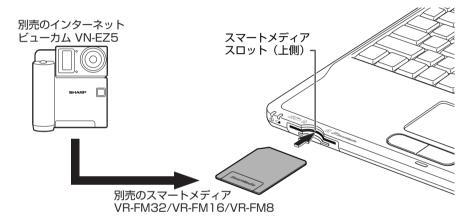
ご参考

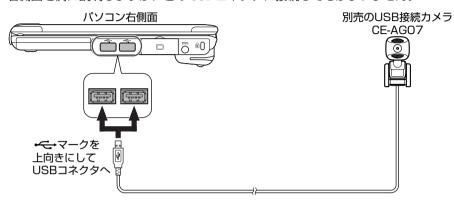
ザウルスとやりとりできるデータの種類については、ザウルスの説明書を参照してください。

デジタルカメラの画像を取り込む

別売のインターネットビューカムやUSB接続カメラから、画像データを取り込むことができます。またデジタルカメラで撮影してコンパクトフラッシュカードなどに保存された画像データをパソコンに取り込むこともできます。

インターネットビューカムの画像を取り込む

別売のインターネットビューカム（VN-EZ5）で撮影した画像データを、スマートメディアでパソコンに取り込むことができます。
スマートメディアの使い方については、スマートメディアを使う（☞125ページ）を参照してください。

USB 接続カメラで画像を取り込む

USB コネクタと別売の USB 接続カメラ（CE-AG07）を接続すると、静止画や動画が取り込めます。
USB コネクタはパソコン左側面に 1 つ、右側面に 2 つあります。ここではパソコン右側面を例に説明しますが、どの USB コネクタに接続してもかまいません。

静止画や動画を取り込むには、付属のカメラビューア（USBカメラ用画像キャプチャソフト）を使います。画像の取り込みの操作については、カメラビューアのヘルプを参照してください。

カメラビューアを起動するには
スタートメニューから「プログラム」－「Sharp Applications」－「カメラビューア」をクリックします。

デジタルカメラの画像を取り込む

スマートメディアやコンパクトフラッシュカードなどの記録媒体に保存されたデータをパソコンに取り込むときは、メモリカードでデータをやりとりする（☞46 ページ）を参照してください。

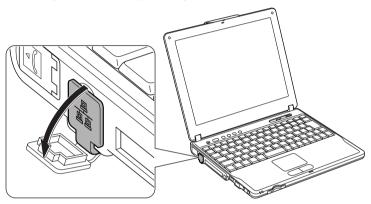
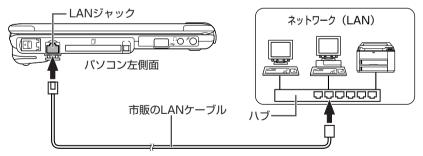
ネットワークに接続する（LAN）

パソコンを会社などのネットワークに接続して使うには、市販のLANケーブルを使って、パソコンの LAN ジャックとハブを接続します。

使用する LAN ケーブルについて

10BASE-T の LAN に接続する場合はカテゴリ 3 以上、100BASE-TX の場合はカテゴリ 5 のケーブルを使用してください。

1 パソコンの電源を切ります。

2 LAN ジャックのカバーをあけます。

3 パソコンとハブを接続します。

4 パソコンの電源を入れます。

5 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。**

「ネットワーク」画面が表示されます。

「ネットワーク」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

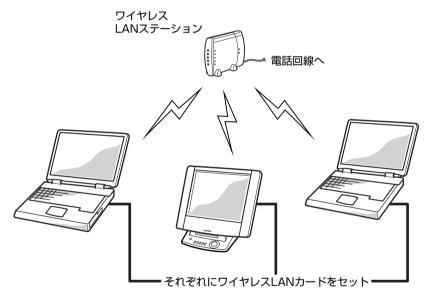
6 **使用するネットワークに合わせて設定をします。**

設定内容については、ネットワーク管理者に確認してください。

無線でネットワーク（LAN）を使う

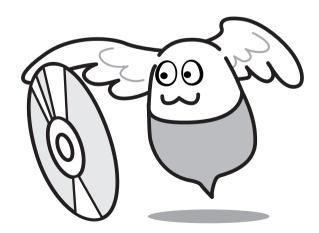
別売のワイヤレスLANカード（CE-WC01）やワイヤレスLANステーション（CE-WA01）を使うと、ケーブルを接続せずに、次のような使い方ができます。

2台以上のメビウスでデータのやり取りをする

2台以上のメビウスで同時にインターネット接続する

ご参考

- ワイヤレスLANカードとワイヤレスLANステーションを使用するには、専用のソフトウェアをインストールする必要があります。
  次のいずれかの方法でインストールしてください。
  ・メビウスのホームページ（http://support.sharp.co.jp/mebius/index.asp）からダウンロードしてインストールする。
  ・ワイヤレス LAN カードやワイヤレス LAN ステーションに付属のフロッピーディスクを使用してインストールする。（別売のフロッピーディスクドライブユニット（CE-FD04）が必要）
- ワイヤレスLANカードやワイヤレスLANステーションの使い方については、それぞれの説明書を参照してください。

AV
音楽を楽しもう

このパソコンでは、専用のプレーヤと同じ感覚で音楽を聴くことができます。
この章では、外部スピーカに接続したり、オーディオ機器に接続したりする方法についても、説明しています。

音楽を聴く

このパソコンで、音楽データ（MIDI データ、MP3 データなど）を聴くことができます。
持ち運べるノートパソコンなので、街へ持って出たりいろいろな使い方でお楽しみください。また、別売の CD-ROM ドライブユニット（CE-CD02）を使うと音楽 CD も楽しめます。

音楽を聴く

音楽データを再生する

ここでは、お手持ちの音楽データ（MIDI、MP3データなど）が「My Document」フォルダの中の「My Music」フォルダに入っているものとして説明します。
音楽データを聴くときは、以下のように操作してください。

1 スタートメニューから「プログラム」ー「Windows Media Player」をクリックします。

Windows Media Player（MIDI/CD プレーヤーソフト）が起動します。

次のように操作することもできます。（Windows 起動時）

- タスクバーの Windows Media Player ボタン（ ）をクリックする。
- デスクトップの「Windows Media Player」アイコンをダブルクリックする。

初めて起動したときは、サンプル再生リストの曲が自動的に流れます。停止するときは （停止）ボタンをクリックしてください。

2 「ファイル」メニューをクリックし、「開く」をクリックします。

「ファイルを開く」画面が表示されます。

3 ［マイドキュメント］をクリックし、「My Music」をダブルクリックします。

「My Music」フォルダの中にある、Windows Media Playerで再生できるファイルが一覧表示されます。

ご参考

お手持ちの音楽データが「My Music」フォルダに入っていないときは、上記手順**3**で聴きたい音楽データの入っているフォルダを選択してください。

4 再生したいファイルをクリックして選択し、［開く］をクリックします。

選択した音楽データの再生が始まります。

Windows Media Player の使い方について詳しくは、Windows Media Player のヘルプを参照してください。

音楽 CD を再生する

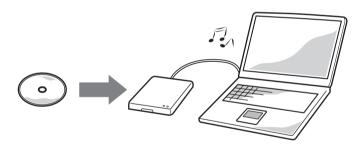
別売の CD-ROM ドライブユニットを使って、音楽 CD を聴くことができます。

再生できるディスク

下記のマークのあるディスクをお使いください。

CD-ROM ドライブユニットは、以下のものをお買い求めください。

CD-ROM ドライブユニット	CE-CD02

CD-ROM ドライブユニットの接続のしかたは、**CD からデータを読み取る** (☞107 ページ) を参照してください。

CD-ROMドライブユニットにセットしたディスクが認識されると(10秒以上かかります)、Windows Media Player (MIDI/CD プレーヤーソフト) が起動して、再生が始まります。

ご参考

- 外部スピーカで聴くときは、**外部スピーカに接続する**(☞61ページ)を参照してください。
- ヘッドホンで聴くときは、**ヘッドホンで聴く**(☞61ページ)を参照してください。
- 音量調節のしかたについては、**音量を調節する**(☞次ページ)を参照してください。
- 再生ソフトの操作については、再生ソフトのヘルプを参照してください。

音量を調節する

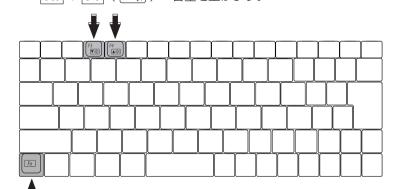
パソコンの内蔵スピーカやヘッドホン／オーディオ出力ジャックの音量を調節するには、以下の 3 通りの方法があります。

・キーボード操作で調節する
・再生ソフトで調節する
・Windows で調節する

ご参考
キーボード操作での音量調節、再生ソフトおよびWindowsでの音量調節は連動していません。一方で調節してもお好みの音量にならない場合は、他の方法でも調節してみてください。

キーボード操作で調節する

Fn キーを押しながらファンクションキーの F3 （▼🔉）または F4 （▲🔉）キーを押して、調節します。

Fn ＋ F3 （▼🔉）：音量を下げます。
Fn ＋ F4 （▲🔉）：音量を上げます。

再生ソフトで調節する

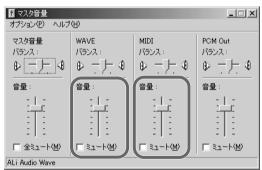
Windows Media Player の「音量」つまみを左右にドラッグして調節します。

Windows で調節する

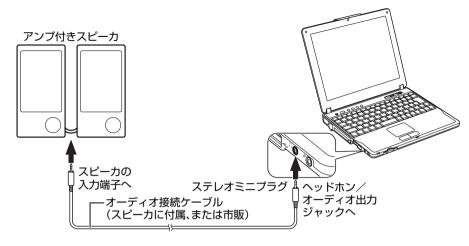
をダブルクリックして表示される画面で、音量を調節します。

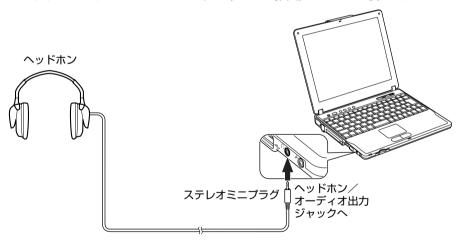
1 タスクバーの をダブルクリックします。

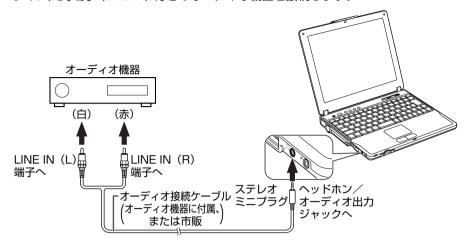
「マスタ音量」画面が表示されます。

2 再生する音声に応じた項目の音量つまみを上下にドラッグして調節します。

WAVE 再生時	：「WAVE」の音量を調節します。
MIDI 再生時	：「MIDI」の音量を調節します。
CD 再生時	：「WAVE」の音量を調節します。

外部スピーカに接続する

市販のアンプ付きスピーカに接続できます。

ヘッドホンで聴く

ヘッドホンは、インピーダンス 8 Ω以上（32 Ωを推奨）のものをお使いください。

オーディオ機器にアナログ音声を出力する

ライン入力端子（LINE IN）付きのオーディオ機器と接続します。

AV パソコンリンク機能付き MD に録音する

シャープ製のパソコンリンク機能付きMDポータブルレコーダに接続すると、パソコン側の操作だけで、音楽データを MD にデジタル録音することができます。さらに、別売の CD-ROM ドライブユニット（CE-CD02）を接続すると、音楽 CD の内容を MD に録音することもできます。

対応機種	接続方法	必要な別売品
MD-MT77	USB 接続	MD- パソコン接続キット（AD-PCR2）

録音に失敗しないために

次の準備をしてください。

- AC アダプタを接続する。
- 「電源の管理のプロパティ」画面で「モニタの電源を切る」「システムスタンバイ」「システム休止状態」を「なし」にする。
- 録音に関係のないソフトや自動的に起動するアプリケーションソフトは終了する。
- スクリーンセーバーを「なし」にする。
- 接続している USB 機器を取り外す。

録音中は、操作ボタンやキーを押さないでください。

ご参考

- パソコンの電源を入れた状態で、USB接続ケーブルを接続することができます。
- MD-パソコン接続キットに付属のソフトウェアは、インストールしないでください。インストールすると、次ページからの手順どおりに動作しなくなります。
- MDポータブルレコーダの使い方については、MDポータブルレコーダの説明書を参照してください。MD ポータブルレコーダ側のシンクロ録音機能を使った場合、正しく録音できないことがあります。

音楽を MD に録音する

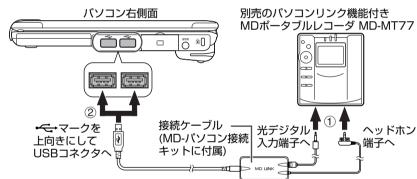
ここでは、Windows Media Player の再生リストがすでに登録されているものとして説明します。再生リストの登録方法について詳しくは、Windows Media Player のヘルプを参照してください。

1 録音用 MD を MD ポータブルレコーダにセットします。

MDの誤消去防止タブが解除されていることを確認してセットしてください。

2 MD ポータブルレコーダの電源を切ります。

3 パソコンと MD ポータブルレコーダを接続します。

最初に MD ポータブルレコーダと MD-パソコン接続キット（AD-PCR2）に付属のケーブルを接続し（①）、次にパソコンの USB コネクタに MD-パソコン接続キットに付属の USB 接続ケーブルを接続します（②）。USB コネクタはパソコン左側面に 1 つ、右側面に 2 つあります。ここではパソコン右側面を例に説明しますが、どの USB コネクタに接続してもかまいません。

4 スタートメニューから「プログラム」ー「SHARP オリジナルプレーヤー」ー「PC → MD 録音」をクリックします。

Windows Media Player が起動します。

5 をクリックし、登録した再生リストを選択します。

自動的に音楽の再生が始まります。

6 をクリックして再生を停止します。

7 **音量を最大にします。**

画面右側の目盛りを上端までドラッグします。

8 **タスクバーの アイコンをダブルクリックし、「USBオーディオデバイス」画面で「WAVE」の音量つまみを上端までドラッグします。**

9 **画面右上の をクリックして「USBオーディオデバイス」画面を閉じます。**

10 **[MD] をクリックします。**

MD-PC Link2（MD 簡単編集ソフト）が起動し、MD への録音が始まります。MD ポータブルレコーダの電源は自動的に入ります。

録音中は他のアプリケーションソフトを使用しないでください。音とびの原因となります。

11 **録音が終了したら、画面右上の をクリックしてMD-PC Link2、Windows Media Player を閉じます。**

12 **MD ポータブルレコーダの電源を切ります。**

13 **パソコンから USB 接続ケーブルを取り外します。**

外部機器から音声を入力する

外部マイクを接続して、アナログ音声を入力できます。

外部マイクから音声を入力する

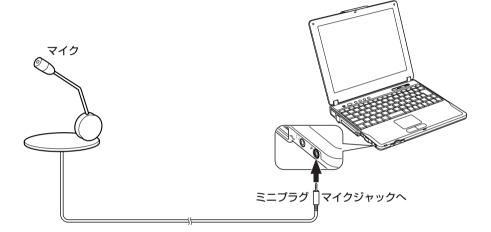
接続できるマイクの仕様は次のとおりです。

　タイプ：エレクトレットコンデンサマイク

　電源電圧：2.5V

　適合インピーダンス：0.6 ～ 2 k Ω

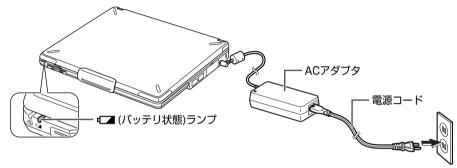
基本操作

操作のしかたを確かめよう

バッテリやキーボードの使い方、ディスプレイの調整、大切なデータをバックアップする方法など、この章ではパソコンの基本的な操作について説明しています。たくさんの機能がありますが、全部を通して読む必要はありません。必要な項目からお読みください。

基本 バッテリを使いこなす

ACアダプタを接続していないときは、パソコンの電源は内蔵のバッテリパックから供給されます。バッテリパックを上手に使いこなすために、充電や残量確認の方法、バッテリ切れの警告などについて知っておきましょう。

バッテリパックを充電する

バッテリパックを充電するといっても、特別な操作は必要ありません。
AC アダプタを接続するだけで充電が始まり、満充電になると充電が止まります。

充電中の状態は

（バッテリ状態）ランプで確認できます。

オレンジ点灯	充電中
緑点灯	満充電

ランプがオレンジ点滅しているときは

- バッテリパックの温度が上がり過ぎたため、充電が一時中止されています。いったんパソコンの電源を切って AC アダプタとバッテリパックを取り外し、バッテリパックの温度が下がってから取り付けてください。
- バッテリパックが正しく装着されていない可能性があります。いったんパソコンの電源を切って AC アダプタとバッテリパックを取り外し、バッテリパックを装着し直してから、再度ACアダプタを接続してみてください。それでも同じなら、バッテリパックまたはパソコンの充電回路の異常が考えられます。お買い上げの販売店にご連絡ください。

充電時間は

次のとおりです。（バッテリ残量が空の状態から満充電になるまで）

電源オフで充電したとき	約 3 時間
電源オンで充電したとき	約 4.5 時間

ご参考

長時間使用している場合など、バッテリパックの温度が高くなっているときは、充電時間が長くなることがあります。

満充電時の使用時間は

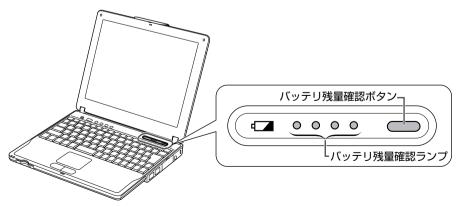
仕様一覧（別紙）の「バッテリ駆動時間」を参照してください。

バッテリの残量を確かめる

バッテリの残量は画面で確認できるほか、バッテリ残量確認ランプでも確認できます。

バッテリの残量をバッテリ残量確認ランプで確認する

バッテリパックには、バッテリ残量確認ランプが付いていて、パソコンに装着した状態で確認できます。バッテリ残量確認ボタンを押すと、バッテリ残量確認ランプが点灯して残量を表示します。

バッテリパックをパソコンから取り外した状態でも確認できます。

ランプの状態		バッテリ残量の目安
○○○○	4つ点灯	76% ～100%（満充電）
○○○●	3つ点灯	51% ～75%
○○●●	2つ点灯	26% ～50%
○●●●	1つ点灯	25% 以下
○●●●	1つ点滅	非常に少ない状態
●●●●	全て消灯	0%（空）

バッテリの残量を画面で確認する

タスクバーの の上に、マウスポインタを移動します。
バッテリの残量がパーセント表示されます。

をダブルクリックして、「電源メーター」画面で確認することもできます。

ご参考

- #1 は標準バッテリパック、#2 はアドオンバッテリのそれぞれ残量を表示します。バッテリパックを取り付けていないときは、バッテリのアイコンの下に「存在しません」と表示されます。
- バッテリの残量表示は概算によるものです。使用状況によって誤差が生じますので目安としてお使いください。
- バッテリの残量表示と実際の使用時間の差が大きくなったときは、バッテリパックを初期化してください。(☞73 ページ)

タスクバーに が表示されていないときは

次のように操作して、表示させてください。

1 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「電源の管理」アイコンをダブルクリックします。**

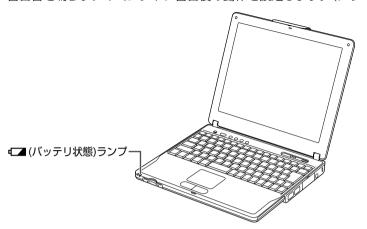
「電源の管理のプロパティ」画面が表示されます。

「電源の管理」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 **「詳細設定」タブをクリックし、「アイコンをタスクバーに常に表示する」をクリックしてチェックマークを付け、[OK] をクリックします。**

3 **画面右上の をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

バッテリ切れを警告するタイミングや動作を設定する

警告音を鳴らすタイミングや、警告後の動作を設定します。(アラーム設定)

ご参考

バッテリ残量が約１０%になると、アラーム設定の内容にかかわりなく、 ランプが赤く点灯し警告音が鳴ります。すぐにデータを保存して電源を切るか、ACアダプタを接続してください。そのまま使用し続けると、 ランプが赤く点滅して警告音が鳴り続けます。

1 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「電源の管理」アイコンをダブルクリックします。**

「電源の管理のプロパティ」画面が表示されます。

「電源の管理」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 **「アラーム」タブをクリックし、各項目のつまみをドラッグします。**

「バッテリ低下の警告」：　「バッテリ消耗の警告」より大きい値に設定してください。

「バッテリ消耗の警告」：　5%以上の値に設定してください。

3 それぞれの項目の［警告の動作］をクリックします。

「バッテリ残量低下の警告の動作」または「バッテリ消耗の警告の動作」画面が表示されます。

4 「警告後のコンピュータの動作」をクリックしてチェックマークを付け、動作内容を設定し、［OK］をクリックします。

5 ［OK］をクリックして画面を閉じます。

6 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

バッテリパックを初期化する

バッテリ残量表示と実際の使用時間の差が大きくなったときや、新しいバッテリパックと交換したときは、以下の手順でバッテリパックを初期化してください。

1 AC アダプタを接続して、満充電になるまで充電します。

2 パソコンの電源を入れます。

3 「Press <F2> to enter SETUP」と表示されている間に、F2 キーを押します。

セットアップユーティリティ画面が表示されます。

4 ACアダプタを外して、バッテリの残量が完全になくなって電源が切れるまで放置します。

満充電からバッテリの残量が完全になくなるまでの時間は次のとおりです。

標準バッテリパックのみの場合　：約 3.5 時間

標準バッテリパックとアドオンバッテリの場合：約 6.5 時間

5 **AC アダプタを接続して、満充電になるまで充電します。**

所用時間は次のとおりです。満充電になると、 ランプが緑点灯します。

標準バッテリパックのみの場合　：約 3 時間
標準バッテリパックとアドオンバッテリの場合 ：約 5.5 時間

ご参考

- アドオンバッテリのみを初期化することはできません。
- バッテリパックは消耗品です。充放電を繰り返すうちにバッテリが劣化し、使用時間が短くなってきます（常温で約300回が目安です）。初期化しても極端に使用時間が短くなったときは、新しいバッテリパックと交換してください。

バッテリパックを交換する

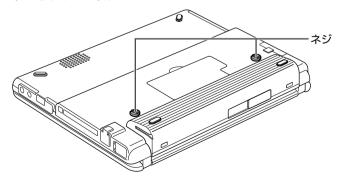
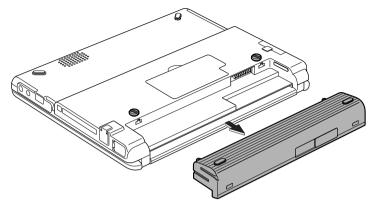
長時間バッテリで使用するときなどは、予備のバッテリパックを準備して交換することもできます。

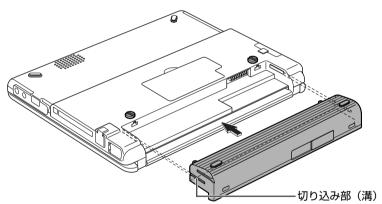
新しいバッテリパックをお求めのときは

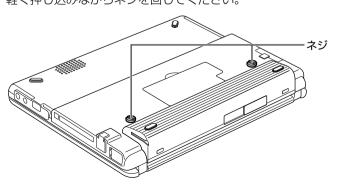
パソコンをお買い上げの販売店でお買い求めください。（サービス部品扱い）

1 **パソコンの電源を切り、AC アダプタを外します。**

2 **ディスプレイを閉じて、パソコンを裏返します。**

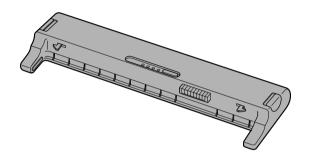
3 **ネジをゆるめます。**

4 バッテリパックを取り外します。

5 新しいバッテリパックを取り付けます。

バッテリパックの切り込み部(溝)をパソコンの突起部に合わせて差し込みます。

6 ネジでバッテリパックを固定します。

軽く押し込みながらネジを回してください。

アドオンバッテリで動作時間を延ばす

外出先など電源コンセントのない場所でパソコンを使用する場合は、別売のアドオンバッテリを装着すると標準バッテリパックのみよりも長くパソコンを使用できるようになります。標準バッテリパックとアドオンバッテリが満充電の場合の使用時間については、**仕様一覧**（別紙）の「バッテリ駆動時間」を参照してください。

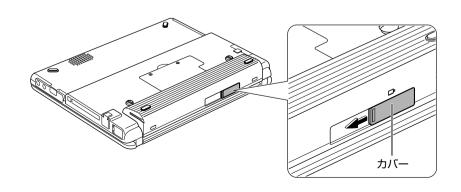
アドオンバッテリは、以下のものをお買い求めください。

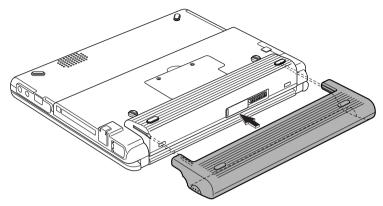
アドオンバッテリ	CE-BL16

アドオンバッテリを取り付ける

アドオンバッテリは、標準バッテリパックの後ろに装着して使用します。

1 **パソコンの電源を切り、AC アダプタを外します。**

2 **ディスプレイを閉じて、パソコンを裏返します。**

3 **標準バッテリパック後ろのカバーを「カチッ」と音がするまであけます。**

4 **アドオンバッテリを取り付けます。**

アドオンバッテリの突起部と標準バッテリパックの切り込み部(溝)を合わせて差し込みます。

正しく装着されると、「カチッ」と音がします。

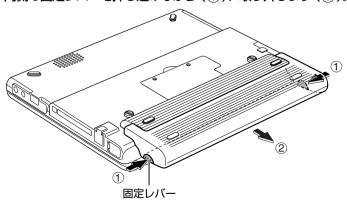
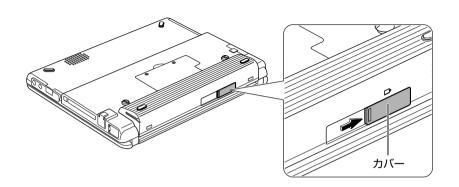
ご注意

アドオンバッテリは、必ず指定のものを正しく装着してください。誤った装着のしかたをすると、故障の原因になります。

アドオンバッテリを取り外す

1 **パソコンの電源を切り、AC アダプタを外します。**

2 **ディスプレイを閉じて、パソコンを裏返します。**

3 **両側の固定レバーを押し込みながら (①)、取り外します (②)。**

4 標準バッテリパック後ろのカバーを「カチッ」と音がするまで閉めます。

アドオンバッテリを充電する

アドオンバッテリを装着した状態でACアダプタを接続すると充電できます。充電時間は次のとおりです。(標準バッテリパックとアドオンバッテリのバッテリ残量が空の状態から満充電になるまで)

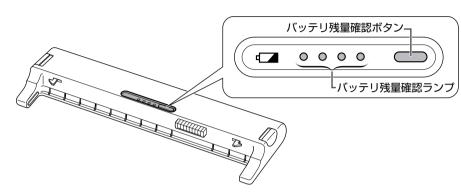
電源オフで充電したとき	約 5.5 時間
電源オンで充電したとき	約 9 時間

アドオンバッテリの充電は、標準バッテリパックを満充電した後に開始されます。

満充電時の使用時間は

仕様一覧 (別紙) の「バッテリ駆動時間」を参照してください。

アドオンバッテリのバッテリ残量を確認する

アドオンバッテリにもバッテリ残量確認ランプが付いていますので、標準バッテリパックと同じように確認できます。確認のしかたやバッテリ残量の目安については、バッテリの残量を確かめる（☞69 ページ）を参照してください。

アドオンバッテリを初期化する

アドオンバッテリを装着し、バッテリパックを初期化する(☞73ページ)の手順でアドオンバッテリを初期化することができます。

基本 消費電力を節約する

省電力機能は、コントロールパネルの「電源の管理」で設定することができます。
省電力機能は、ACアダプタで使用しているときと、バッテリで使用しているときのそれぞれについて設定できます。

操作しないときディスプレイやハードディスクの電源を切る

一定時間操作しない状態が続いたとき、ディスプレイまたはハードディスクへの電源供給を停止することができます。操作を再開すると、再び電源が供給されます。

1 スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「電源の管理」アイコンをダブルクリックします。

「電源の管理のプロパティ」画面が表示されます。
「電源の管理」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 「モニタの電源を切る」と「ハードディスクの電源を切る」欄で、それぞれの状態に移行するまでの時間を設定します。

「モニタの電源を切る」の設定は、省電力機能に対応した外部ディスプレイを接続しているとき、外部ディスプレイに対しても働きます。

3 [OK] をクリックして画面を閉じます。

4 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

操作しないときスタンバイまたは休止状態にする

一定時間操作しない状態が続いたとき、スタンバイまたは休止状態にすることができます。

スタンバイ	現在の状態をメモリに保存し、ほとんどの電源供給を停止します。スタンバイに移行すると、⏻(電源)ランプが緑点滅します。操作を再開すると、わずかな時間で元の状態に復帰します。
休止状態	現在の状態をハードディスクに保存し、電源を切ります。休止状態に移行すると、⏻(電源)ランプが消灯します。電源ボタンを押すと、元の状態に復帰します。

ご注意

スタンバイおよび休止状態へ移行または復帰する際には、誤動作やデータの損失を防ぐため、必ず次の事項を守ってください。

- 移行するときは、通信、印字、および動画や音楽の再生は、いったん終了してください。
- 移行または復帰中に、パソコンや周辺機器に触れたり、周辺機器の取り付け／取り外しをしたりしないでください。
- スタンバイは現在の状態を一時記憶するだけです。スタンバイのまま放置してバッテリが切れると、データが消えてしまいます。
- バッテリで使用しているとき、バッテリの残量が一定水準以下になると、スタンバイまたは休止状態から復帰できないことがあります。その場合は、AC アダプタを接続してください。

スタンバイまたは休止状態になるまでの時間を設定する

1 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「電源の管理」アイコンをダブルクリックします。**

「電源の管理のプロパティ」画面が表示されます。

「電源の管理」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 「システムスタンバイ」と「システム休止状態」欄で、それぞれの状態に移行するまでの時間を設定します。

3 [OK] をクリックして画面を閉じます。

4 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

今すぐスタンバイまたは休止状態にする

席を外すときなどに、パソコンをスタンバイまたは休止状態にしておくことができます。

「Windows の終了」画面でスタンバイまたは休止状態にする

1 スタートメニューから「Windows の終了」をクリックし、「Windows の終了」画面で「スタンバイ」または「休止状態」を選択します。

2 [OK] をクリックします。

特定の操作でスタンバイまたは休止状態にする

「電源の管理のプロパティ」画面で設定すると、次の操作をしたときも、スタンバイまたは休止状態にすることができます。

- ディスプレイを閉じる。
- 電源ボタンを押す。
- Fn ＋ F12 キーを押す。

1 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「電源の管理」アイコンをダブルクリックします。**

「電源の管理のプロパティ」画面が表示されます。

「電源の管理」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 **「詳細設定」タブをクリックし、必要な項目を設定します。**

「ポータブルコンピュータを閉じたとき」：

ディスプレイを閉じたときの動作を、なし／スタンバイ／休止状態／電源オフから選択します。

「コンピュータの電源ボタンを押したとき」：

電源ボタンを押したときの動作を、スタンバイ／休止状態／電源オフから選択します。

「コンピュータのスリープボタンを押したとき」：

Fn ＋ F12 キーを押したときの動作を、スタンバイ／休止状態／電源オフから選択します。

3 **[OK] をクリックします。**

4 **画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

CPU の速さを調節して消費電力を節約する

このパソコンには、LongRun 機能が搭載されています。
LongRun 機能は、CPU がたくさんの処理をするときは CPU の処理速度を自動的に上げ、何もしていないときは自動的に処理速度を下げて、CPUで消費する電力を調節する機能です。処理速度の上げ下げは自動的にされますが、上限と下限を手動で設定することができます。

1 **タスクバーの を右クリックしメニューを表示します。**

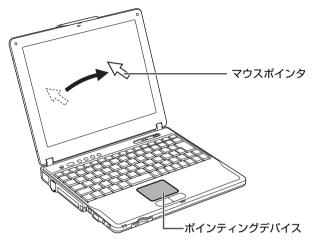
2 **「Open」をクリックします。**
「LongRun」画面が表示されます。

3 **CPU 処理速度の上限と下限を、画面の調節つまみ（ ： ）でそれぞれ設定します。**

4 **画面右上の をクリックして「LongRun」画面を閉じます。**

ご参考
静止画や動画を表示・再生したり、音楽を聴いたりするときは、下限の調節つまみ（ ）を一番上までドラッグして、CPU 処理速度を最大に固定しておくことをお勧めします。

基本 パッド型ポインティングデバイスを使う

Windows Me では、ポインティングデバイスによる画面操作で、ほとんどの操作が可能です。初めはマウスポインタ（ ）が思いどおりに動かないものですが、マウス（市販品）を使うより場所をとらず、外出先でも手軽に操作できますから、ゆっくり操作しながら慣れましょう。

パッド部とボタンで操作する

ポイントする

マウスポインタ（矢印マーク）を目的のアイコンやボタンの上に移動することです。

パッドに指を触れて、移動したい方向に動かします。
パッドの端で指を動かす場所がなくなったら、いったん指を上げて元の位置へ戻して、再度指を動かしてください。

ご注意

- 必ず指で操作してください。先のとがったもの（シャープペンやボールペンの先）で操作すると、パッドを傷めてしまいます。
- 濡れた手や汗をかいた手で操作しないでください。マウスポインタが思わぬ方向に動いてしまうだけでなく、故障の原因にもなります。

クリックする

画面上のボタンを押したり、メニューを選ぶ操作です。

マウスポインタの位置を確かめて、
左ボタンを「カチッ」と 1 回押します。

ダブルクリックする

ソフトウェアを起動したり、ファイルを開くときの操作です。

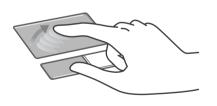
マウスポインタの位置を確かめて、
左ボタンを「カチッカチッ」と 2 回押します。

右クリックする

関連するメニューを表示するときなどに使う操作です。

マウスポインタの位置を確かめて、
右ボタンを「カチッ」と 1 回押します。

ドラッグする

ファイルやフォルダを移動する操作です。

マウスポインタの位置を確かめて、親指で左ボタンを押したまま、人差し指をパッド上で動かします。
目的の位置まできたら、親指を左ボタンから離します（ドロップする）。
人差し指はそのあとゆっくり離してかまいません。
一連の動作をドラッグ＆ドロップと呼びます。

パッド部だけで操作する

左ボタンのかわりにパッド部を「トン」と指でたたいて、クリックやダブルクリックをすることもできます。

クリックする

マウスポインタの位置を確かめて、パッドを「トン」と1回たたきます。

ダブルクリックする

マウスポインタの位置を確かめて、パッドを「トントン」と2回たたきます。

ドラッグする

マウスポインタの位置を確かめて、パッドを「トントン」と2回たたき、指をパッドにのせたまま動かします。
目的の位置まで動かしたら、指を離します（ドロップする）。
一連の動作をドラッグ&ドロップと呼びます。

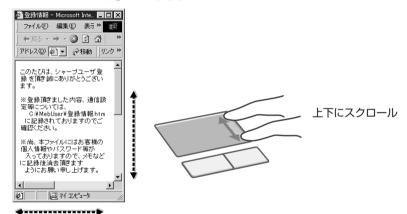
画面をスクロールする

パッド部で指を動かして、画面をスクロールすることができます。
画面のスクロールは、対応したアプリケーションソフトでのみ動作します。

上下にスクロールする

パッドの右端に指を触れて、前後に動かします。指を前に動かすと画面が上にスクロールされ、後ろに動かすと画面が下にスクロールされます。

左右にスクロールする

パッドの下部に指を触れて、左右に動かします。指を右に動かすと画面が右にスクロールされ、左に動かすと画面が左にスクロールされます。

その他の機能の確認や設定は

「マウスのプロパティ」画面を参照してください。画面を表示するには、タスクバーにある をダブルクリックします。機能については、ヘルプの内容を参照してください。

基本 キーボードを使う

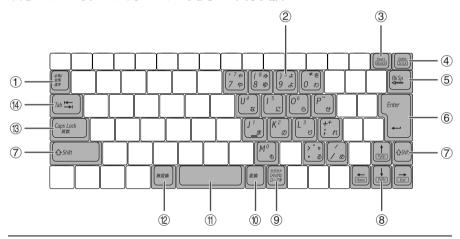
キーボードを使うと、文字を入力したり、特定の機能を働かせたりすることができます。ここでは、それぞれの役割に使うキーをまとめて紹介します。

ご参考

Windowsやアプリケーションソフトで割り当てられているその他の機能については、 下記のものを参照してください。

- スタートメニューの「ヘルプ」をクリックして表示されるヘルプ画面
- Microsoft IME（日本語入力システム）のヘルプ
- お使いのアプリケーションソフトの説明書、ヘルプ

文字を入力する

下記のキーを使って入力モードの変更や、文字変換をします。

① **半角/全角・漢字 キー**

日本語入力システムのオン／オフを切り替えます。（ご購入時の設定）

② **数字キーブロック**

数字キーロックモード時、数字と演算記号（青色刻印）が入力できる状態になります。

③ **NumLk （数字キーロック）キー**

Fn キーを押しながら、 NumLk キーを押すと、 (NumLock)ランプが点灯し、数字キーロックモードになります。このとき、数字キーブロックで、数字と演算記号（青色刻印）が入力できます。モードを解除するには、もう一度 Fn キーを押しながら、 NumLk キーを押します。

④ **Delete（デリート）キー**

カーソル位置の右側の 1 文字、または選択した範囲の文字を消します。

⑤ **BkSp（バックスペース）キー**

カーソル位置の左側の 1 文字、または選択した範囲の文字を消します。

⑥ **Enter（エンター）キー**

日本語入力システムがオンのときに、入力した文字を確定します。
文字確定後、および日本語入力システムがオフのときは、改行になります。

⑦ **Shift（シフト）キー**

Shift キーを押しながら文字キーを押すと、キーの上段に刻印されている文字や記号、アルファベットの大文字が入力できます。

⑧ **↑ ↓ ← →（カーソル）キー**

カーソルを上下左右に移動します。

⑨ **カタカナ・ひらがな・ローマ字 キー**

日本語入力システムがオンのときは、Alt キーを押しながら カタカナ・ひらがな・ローマ字 キーを押すたびに、かな入力／ローマ字入力が切り替わります。また、Shift キーを押しながら カタカナ・ひらがな・ローマ字 キーを押すと、カタカナモードになります。ひらがなモードに戻るには、カタカナ・ひらがな・ローマ字 キーだけを押します。

⑩ **変換 キー**

日本語入力システムがオンのときに、入力した文字を変換します。
もう 1 度 変換 キーを押すと、他の候補リストを表示します。
スペースキーを押して変換することもできます。（ご購入時の設定）

⑪ **（スペース） キー**

スペース（空白）を入力します。

⑫ **無変換 キー**

日本語入力システムがオンのときに、入力した文字を、全角／半角のカタカナや数字に変換できます。

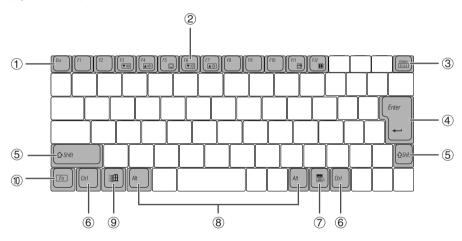
⑬ Caps Lock・英数 キー

Shift キーを押しながら、Caps Lock・英数 キーを押すと、(Caps Lock) ランプが点灯し、アルファベットの大文字が入力できる状態になります。モードを解除するには、もう一度 Shift キーを押しながら、Caps Lock・英数 キーを押します。また、日本語入力システムがオンのときに Caps Lock・英数 キーを押すと、英数字モードになります。

⑭ Tab（タブ）キー

タブ位置まで入力位置が移動します。

特定の機能を働かせる

キーボードからパソコンを動作させるためには、特定の機能を割り当てたキーを押す方法と、Fn や Ctrl キーなどを押しながら他のキーを押す操作（ショートカット）があります。

① Esc（エスケープ）キー

現在の操作を取り消して、1 つ前の操作に戻るときなどに押します。

② F1 ～ F12（ファンクション 1 ～ 12）キー

使用するソフトウェアによって、いろいろな機能が割り当てられます。

③ Delete（デリート）キー

選択したファイルやアイコンなどを削除します。

④ ［↵］（エンター）キー
設定画面の破線で囲まれたボタンや、反転している項目を選択します。

⑤ Shift（シフト）キー
Shift キーを押しながら他のキーを押すと、キーの上段に刻印されている機能が働きます。

⑥ Ctrl（コントロール）キー
Ctrl キーを押しながら他のキーを押すと、いろいろな操作ができます。機能は使用するソフトウェアによって異なります。

⑦ ［アプリケーションキー］（アプリケーション）キー
使用するソフトウェアによって、いろいろな機能が割り当てられます。通常は、右クリックと同じ働きをします。

⑧ Alt（オルト）キー
Alt キーを押しながら他のキーを押すと、いろいろな操作ができます。機能はソフトウェアによって異なります。Alt キーを押しながら緑色で刻印されたキーを押すと、その機能が働きます。

⑨ ［Windowsキー］（Windows）キー
Windows Me の「スタート」メニューを表示します。

⑩ Fn（ファンクション）キー
Fn キーを押しながら枠囲みで刻印されているキーを押すと、枠囲みの機能が働きます。枠囲みでアイコンが刻印されているキーの機能は次のとおりです。

Fn ＋ F3（▼🔊）：音量を下げます。
Fn ＋ F4（▲🔊）：音量を上げます。
Fn ＋ F5（🖵）：外部ディスプレイを使用しているとき、表示先を切り替えます。
Fn ＋ F6（▼☼）：内蔵ディスプレイを暗くします。
Fn ＋ F7（▲☼）：内蔵ディスプレイを明るくします。
Fn ＋ F11（❐）：内蔵ディスプレイのオン／オフを切り替えます。
Fn ＋ F12（⏸）：パソコンをスタンバイ、休止状態または電源オフにします。

ディスプレイの明るさ・解像度・壁紙を変える

ディスプレイが明るくて目が疲れると感じたときや、暗くて見づらいと感じたときは、明るさを調整してください。また、ディスプレイの解像度や壁紙を変えることもできます。

ディスプレイの明るさを変える

キーボード操作で、ディスプレイの明るさを変えることができます。

Fn ＋ F6（▼☼）	ディスプレイを暗くします。
Fn ＋ F7（▲☼）	ディスプレイを明るくします。

ディスプレイの解像度や色を変える

パソコンのディスプレイは、解像度や色数を変更することができます。
通常はご購入時の設定のままお使いください。

1 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「画面」アイコンをダブルクリックします。**

「画面のプロパティ」画面が表示されます。

2 **「設定」タブをクリックし、「色」の ▼ をクリックして、メニューから色数を選びます。解像度を変えるときは、「画面の領域」のつまみをドラッグして動かします。**

3 **[OK] をクリックします。**

変更した項目（色または解像度）の確認メッセージが表示されます。両方を変更したときは、それぞれのメッセージが表示されます。
メッセージに従って操作してください。

4 **画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

設定可能な解像度と色数

解像度（ドット）	640 × 480、800 × 600、1024 × 768 1280 × 1024※1、1600 × 1200※1
色数	256 色、65536 色、1677 万色 ※2

※ 1 これらの解像度に対応している外部ディスプレイでのみ設定できます。（内蔵ディスプレイのみ、および内蔵ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示のときは設定できません。）

※ 2 内蔵ディスプレイでは、ディザリング機能により最大で 1677 万色を表示できます。

ご参考

- 「色」の設定と表示の色数は以下の通りです。
  High Color（16 ビット）　：65536 色
  True Color（24 ビットまたは 32 ビット）：1677 万色
- 「True Color」に設定した場合には、次のような制限があります。
  ・画面の描画速度が少し遅くなる。
  ・動画を表示すると、画面が乱れる場合がある。

ディスプレイの壁紙を変える

このパソコンには、あらかじめいろいろな壁紙が用意されています。

1 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「画面」アイコンをダブルクリックします。**

「画面のプロパティ」画面が表示されます。

2 **リストから壁紙を選びます。**

壁紙を選ぶと設定画面にサンプル画面が表示されます。

3 **[OK] をクリックします。**

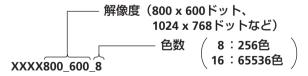
「画面のプロパティ」画面が閉じ、選択した壁紙に設定されます。

4 **画面右上の ✕ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

ご購入時の状態に戻すには

上記手順 **2** で「blackworld2_1024_768_16」を選んでください。

ご参考

- メビウス用の壁紙は、使用する場合のディスプレイの解像度と色数がわかるように名前がついています。

- 1677万色の壁紙を使用するときは、あらかじめディスプレイの色を「True Color（24 ビット）」に設定してください。1677 万色の壁紙を使用しているときは、アプリケーションソフトによっては起動できないことがあります。その場合は、壁紙を256色（8ビット）または 65536 色（16 ビット）のものに変更してください。

基本 大切なデータをバックアップする

パソコンを使っていくうちに、送受信した電子メールや作成した文書など、大切なデータがハードディスクの中に保存されていきます。データが読み出せなくなるなどの万一の場合に備えて、大切なデータは他の場所にもコピーしておきましょう。
データをコピーして他の場所に保存しておくことを、「バックアップ」といいます。
大切なデータは、日頃からこまめにバックアップするようにしてください。

このパソコンのハードディスクには、Windowsやアプリケーションソフトなどがインストールされている C ドライブの他に、何もデータが入っていない D ドライブが用意されています。大切なデータは、ひとまず D ドライブにバックアップしておきましょう。
Windowsの動作が不安定になるなどして再インストールする場合に、Cドライブの内容だけをご購入時の状態に復元すれば、Dドライブに保存されているデータは消さずに残すことができます。

ご注意

- D ドライブへのバックアップは、あくまでも一時的な対処法です。ハードディスク自体が故障してしまったときはDドライブの内容も読み出せなくなります。フロッピーディスクやCD-Rなどの記録メディアにもバックアップするようにしてください。
- ネットワークの設定などはファイルをコピーするだけではバックアップできません。必ずメモに控えておいてください。
- バックアップした後に、メールの送受信、データの作成や編集をしたデータは、バックアップデータを戻して復元すると失われてしまいます。

D ドライブにフォルダを作成する

何のデータをバックアップしたかわかりやすく整理するために、バックアップをする前にあらかじめフォルダを作成しておきます。

1 **「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。**

2 **「ローカルディスク (D:)」アイコンをダブルクリックします。**

3 **「ファイル」メニューから「新規作成」－「フォルダ」をクリックします。**
「新しいフォルダ」が作成されます。フォルダを作成した直後は、フォルダ名が青く反転されていて、名前を変更できる状態になっています。

4 **「マイドキュメント」と入力して、フォルダ名を変更します。**

5 **手順 3 と手順 4 を繰り返して、以下のフォルダをそれぞれ作成します。**

- お気に入り
- メール
- アドレス帳
- メールアカウント
- IME

ファイルをバックアップする

ご購入時の状態では、アプリケーションソフトなどで作成した文書ファイルやデータファイルは、主にデスクトップの「マイドキュメント」フォルダ内に保存されるようになっています。（アプリケーションソフトによっては、他のフォルダにデータが保存されている場合もあります。）これらのデータを D ドライブの「マイドキュメント」フォルダにコピーしてください。
ドラッグアンドドロップでファイルをドライブへ移動させると、コピーできます。（パッド型ポインティングデバイスを使う ☞85 ページ）

ドラッグアンドドロップ

Internet Explorer の「お気に入り」をバックアップする

Internet Explorer の「お気に入り」は、以下の手順でバックアップします。

1 **Internet Explorer を起動します。**
インターネットに接続する必要はありません。

2 **「ファイル」メニューから「インポートおよびエクスポート」をクリックします。**
「インポート / エクスポートウィザード」画面が表示されます。

3 **[次へ] をクリックします。**

4 **「お気に入りのエクスポート」を選択し、[次へ] をクリックします。**

5 **「Favorites」が選択されていることを確認し、[次へ] をクリックします。**

6 **保存先を D ドライブの「お気に入り」フォルダに指定し、[保存] をクリックします。**

7 **[次へ] をクリックします。**

8 **[完了] をクリックします。**
「お気に入りのエクスポートに成功しました」と表示されます。

9 **[OK] をクリックします。**

Outlook Express のデータをバックアップする

Outlook Express の電子メールをバックアップする

ご購入時の設定では Outlook Express の電子メールデータは、すべて以下のフォルダに登録されています。「Outlook Express」フォルダをDドライブの「メール」フォルダにコピーしておいてください。

C:¥WINDOWS¥Application Data¥Identities¥{電子メールアカウントごとに特定の文字列※}¥Microsoft¥Outlook Express

※ ユーザごとに異なる英数字の名前がつけられています。

Outlook Express のアドレス帳をバックアップする

Outlook Express に登録したアドレス帳は、以下の手順でバックアップします。

1. **Outlook Express を起動します。**
   インターネットに接続する必要はありません。
2. **「ツール」メニューから「アドレス帳」をクリックします。**
   「アドレス帳」画面が表示されます。
3. **「ファイル」メニューから「エクスポート」－「アドレス帳（WAB)」をクリックします。**
   「エクスポートするアドレス帳ファイルの選択」画面が表示されます。
4. **保存名を入力し、保存先をDドライブの「アドレス帳」フォルダに指定し、[保存] をクリックします。**
   「アドレス帳が次の場所にエクスポートされました」と表示されます。
5. **[OK] をクリックします。**

Outlook Express のメールアカウントの設定をバックアップする

メールアドレスやメールサーバなどの設定は以下の手順でバックアップします。複数のユーザで Outlook Express を使用している場合は、それぞれの設定を個別にバックアップしてください。

1. **Outlook Express を起動します。**
   インターネットに接続する必要はありません。
2. **「ツール」メニューから「アカウント」をクリックします。**
   「インターネットアカウント」画面が表示されます。
3. **「メール」タブをクリックします。**
4. **バックアップしたいアカウントを選択し、[エクスポート]をクリックします。**
5. **保存先を D ドライブの「メールアカウント」フォルダに指定し、[保存] をクリックします。**
6. **[閉じる] をクリックします。**

ネットワークの設定をバックアップする

Internet Explorer の設定を控える

Internet Explorer の設定は以下の手順でメモに控えます。接続設定以外にもホームページやフォントの設定などを変更している場合は、それぞれメモに控えるようにしてください。

1 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックします。**

2 **「インターネットオプション」をダブルクリックします。**

「インターネットのプロパティ」画面が表示されます。

3 **設定内容をメモに控えます。**

ダイヤルアップの設定を控える

プロバイダのアクセスポイントの電話番号やユーザ名、パスワードなどは以下の手順でメモに控えます。「新しい接続」以外のすべてのファイルの設定内容をそれぞれメモに控えるようにしてください。

1 **スタートメニューから「設定」ー「ダイヤルアップネットワーク」をクリックします。**

2 **を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。**

3 **すべてのタブの設定内容をメモに控えます。**

「ネットワーク」タブの［TCP/IP 設定］の内容も忘れずに控えてください。

ネットワークの設定を控える

パソコンのネットワーク設定は以下の手順でメモに控えます。モデムとLANを両方お使いの場合は、両方の設定を控えるようにしてください。

1 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックします。**

2 **「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。**

「ネットワーク」画面が表示されます。

「ネットワーク」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

3 「現在のネットワークコンポーネント」欄に表示されている内容をメモに控えます。

4 「現在のネットワークコンポーネント」からどちらかを選択し、[プロパティ]をクリックします。

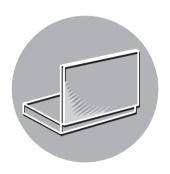
モデムの設定 ....「TCP/IP -> ダイヤルアップアダプタ」

LAN の設定 ......「TCP/IP -> Realtek RTL8139 Family PCI Fast Ethernet NIC」

5 設定内容をメモに控えます。

IME のユーザ辞書をバックアップする

ご購入時の設定ではIMEのユーザ辞書は以下のファイルに登録されています。ファイルをDドライブにコピーしておいてください。

C:¥WINDOWS¥IME¥IMEJP¥UsrDicts¥imejpusr.dic

周辺機器

周辺機器を接続しよう

プリンタや外部ディスプレイなどの周辺機器を接続すると、パソコンの用途が拡がります。PCカードを差し込んで新しい機能を追加することもできます。

接続できる機器を確かめる

プリンタやマウスなど周辺機器を購入するときは、コネクタの形状が合っているか、自分のパソコンに対応しているのか、などを確かめましょう。

使える周辺機器を確かめる

Windows Me に対応している周辺機器を選びましょう

周辺機器のカタログやパッケージで、Windows Meに対応しているか確認してください。

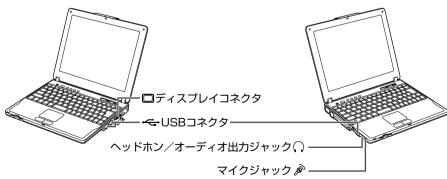
専用のドライバソフトをインストールするものがあります

ドライバソフトは、周辺機器を認識するためのソフトウェアです。ドライバソフトのフロッピーディスクやCD-ROMが付属されている場合は、別売のCD-ROMドライブユニットやフロッピーディスクドライブユニットを接続してから、説明書に従ってパソコンにインストールしましょう。

ご参考

接続可能な周辺機器については、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、またはメビウスのホームページ（http://support.sharp.co.jp/mebius/index.asp）を参照してください。

コネクタの形状を確かめる

このパソコンには次のようなコネクタがあります。コネクタの名前や形状（ピン数）を確認してください。

USB コネクタ（A タイプ）

USB規格対応の機器を接続します。接続できる機器には、「USB対応」などの表示があります。USB対応機器には、マウス、キーボード、プリンタ、モデム、スピーカなどがあります。
USB機器を接続するときは、パソコンの電源を切る必要がありません。

コネクタの形状

ディスプレイコネクタ

パソコン用のCRTディスプレイや液晶ディスプレイを接続します。

コネクタの形状

ご参考

コネクタの違う機器も変換アダプタを使って接続できることがあります。変換アダプタにも「PC/AT互換機対応」などの表示がありますから、よく確かめてお使いください。

USB 機器の接続のしかた／取り外し方

ご参考
周辺機器によって、下記以外の手順が必要な場合もあります。詳しくは周辺機器の説明書を参照してください。

USB 機器の接続のしかた

USB 機器は、電源を入れたまま接続できます。
接続するUSB機器によっては、接続した後に自動的に対応するドライバソフトがインストールされます。インストールされない場合は、警告音が鳴り、画面が表示されますので、画面の指示に従ってドライバソフトをインストールしてください。
USB機器をパソコンに接続するときは、 •⟷ マークを上向きにしてください。

USB 機器の取り外し方

接続する USB 機器によっては、取り外す前にデバイスを停止する必要があります。

1 タスクバーの をクリックします。

2 「XXXXXXXX の停止」をクリックします。

3 [OK] をクリックします。

4 パソコンからケーブルを取り外します。

外部ディスプレイの接続のしかた／取り外し方

外部ディスプレイに表示する（☞117 ページ）を参照してください。

CD からデータを読み取る

別売のCD-ROM ドライブユニット（CE-CD02）を使って、市販のアプリケーションソフトをインストールしたり、データを使うことができます。
CD-ROM ドライブユニットを使うための作業内容や手順などは、CD-ROM ドライブユニットに付属の説明書もあわせて参照してください。

CD について

下記のマークのあるディスクをお使いください。

アプリケーションソフトのインストールについて

アプリケーションソフトをパソコンで使えるようにするには、CD-ROMドライブユニットにCDをセットし、インストール操作をします。インストールの方法については、アプリケーションソフトの説明書を参照してください。

CD-ROM ドライブユニットを接続する

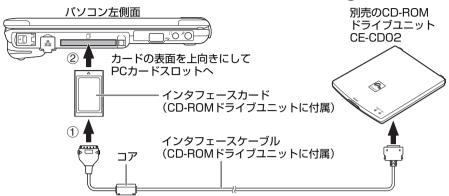
CD-ROMドライブユニットに付属のインタフェースカードとインタフェースケーブルで、CD-ROM ドライブユニットをパソコンに接続します。

ご参考

- CD-ROMドライブユニットを接続するときは、パソコンおよびCD-ROM ドライブユニットに AC アダプタを接続してください。
- このパソコンには、CD-ROMドライブのデバイスドライバがあらかじめインストールされています。CD-ROMドライブに付属のデバイスドライバをインストールする必要はありません。

CD-ROM ドライブユニットは以下のものをお買い求めください。

CD-ROM ドライブユニット　CE-CD02

CD-ROMドライブユニットはパソコンの電源を入れたまま接続できます。先にインタフェースカードとインタフェースケーブルを接続してから(①)、インタフェースカードをパソコンの PC カードスロットに差し込んでください (②)。

CD-ROM ドライブユニットを取り外す

取り外す前にデバイスを停止する必要があります。(☞123 ページ)

周辺 ディスクの取り扱い

ディスクに記録されているデータやプログラム、ドライブを保護するために、次の注意をお守りください。

ディスクを持つときは、両端を持つか、縁と中央の穴をはさむようにして持ち、ディスクの表面に手を触れたり、傷を付けないでください。

直射日光の当たるところや暖房機具の近く、ほこりの多いところなどでの使用・保管は避けてください。

文字などを書いたり、テープなどを貼ったりしないでください。

落としたり、上に重いものを載せたり、曲げたりして、衝撃を与えないでください。

テープなどののりがはみ出たものや、はがしたあとがあるものは使わないでください。

特殊形状(ハート形や八角形など)のディスクは使わないでください。

お手入れのしかた

信号面に汚れが付いたときは、ほこりの出ない乾いた柔らかい布で、中央から縁に向けてまっすぐに軽く拭きとってください。矢印と反対の方向に拭いたり、レコード盤のようにまわしながら拭くと傷がつくことがあります。

レンズのお手入れ

CD-ROMドライブのレンズに汚れが付いたときは、糸くずの出ない綿棒で軽く拭いてください。

ご注意

次のものは使用しないでください。ディスクおよびレンズを傷める恐れがあります。

- アルコール、ベンジン、シンナーなどの化学薬品
- 研磨剤を含むクリーナ
- レコード用のスプレーやクリーナ
- 静電防止剤

フロッピーディスクに保存する

別売のフロッピーディスクドライブユニット(CE-FD04)を使うと、文書データなど比較的小さいデータをフロッピーディスク（FD）に保存できます。

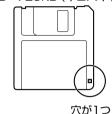
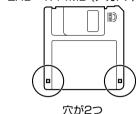
フロッピーディスクについて

フロッピーディスクには、2DD と 2HD の 2 種類があります。

2DD：720KB（キロバイト）

穴が1つ

2HD：1.44MB（メガバイト）

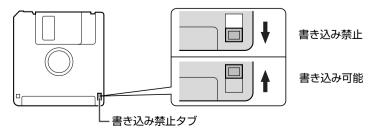
穴が2つ

使用できるフロッピーディスク

- **「DOS/V 用」と表示されたものを選んでください**
  フロッピーディスクを購入するときは、「DOS/V 用」（「DOS/V 機器対応」「DOS/V フォーマット済み」）と表示されたものを選んでください。
- **その他のフロッピーディスクはフォーマットすると使えます**
  「DOS/V 用」以外のフロッピーディスクは、フォーマット（初期化）すると、「DOS/V 用」として使えるようになります。（☞114 ページ）

ご参考

- フォーマットすると、フロッピーディスク内のデータはすべて消えてしまいます。大切なデータが入っていないか、あらかじめ確認してください。
- 1.2MBタイプのフロッピーディスクも使用できますが、使用上の制限事項があります。（☞152 ページ）

書き込み禁止タブについて

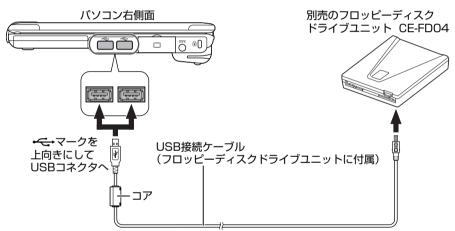
フロッピーディスクには、保存したデータを誤って消してしまわないように、書き込み禁止タブがついています。データを保存するときは、必ず書き込み可能の位置にしてください。書き込み禁止状態でもデータを読み込むことはできます。

フロッピーディスクドライブユニットを接続する

別売のフロッピーディスクドライブユニットに付属のUSB接続ケーブルで、フロッピーディスクドライブユニットをパソコンに接続します。

フロッピーディスクドライブユニットは以下のものをお買い求めください。

フロッピーディスクドライブユニット　CE-FD04

フロッピーディスクドライブユニットに付属している2本のケーブルのうち、コア側のコネクタに ⭠⭢ マークの付いているものをお使いください。

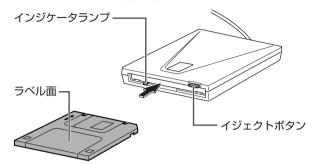
電源を入れたまま接続できます。
USBコネクタはパソコン左側面に1つ、右側面に2つあります。ここではパソコン右側面を例に説明しますが、どのUSBコネクタに接続してもかまいません。

フロッピーディスクドライブユニットを取り外す

取り外す前にデバイスを停止する必要があります。（☞106ページ）

- フロッピーディスクドライブユニットを上下逆にしたり、立てて使用しないでください。また、フロッピーディスクドライブユニットを押さえ付けたりしないでください。破損、故障の原因になります。
- フロッピーディスクドライブユニットの上にACアダプタを載せないでください。フロッピーディスクドライブユニットの動作が不安定になることがあります。

フロッピーディスクに保存する

1 フロッピーディスクドライブユニットに、書き込み可能状態にしたフロッピーディスクを入れます。

ラベル面を上にして差し込んでください。

正しく差し込まれると、イジェクトボタンが少し飛び出します。

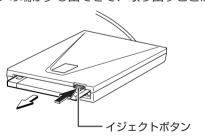
斜めに入れたり、上下を逆にしたりして、無理に押し込まないでください。

2 使用しているアプリケーションソフトで、「保存する場所」を「3.5インチFD(A:)」に指定して、作成したデータを保存します。

ご注意　インジケータランプ点灯中はディスクを取り出さないでください

点灯中はディスクへの書き込みが実行されています。途中でディスクを抜くと、データが失われたり、破損したりすることがあります。

3 インジケータランプが消えていることを確認し、イジェクトボタンを押します。

フロッピーディスクの端が少し出てきて、取り出すことができます。

フロッピーディスクをフォーマット（初期化）する

フロッピーディスクをフォーマットすると、新しいディスクとして使用することができます。（記録されていたデータはすべて消去されます。）
フォーマットしたいフロッピーディスクが、書き込み禁止になっていないことを確認し、次のように操作してください。

1 **フロッピーディスクドライブユニットにフロッピーディスクを入れます。**

2 **「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックして画面を開きます。**

3 **「3.5 インチ FD（A:）」アイコンを右クリックしてメニューを表示します。**

4 **「フォーマット」をクリックします。**

「フォーマット -3.5 インチ FD（A:）」画面が表示されます。

5 **「容量」欄で「1.44MB」（2HD の場合）または「720KB」（2DD の場合）をクリックします。**
新しいディスクをフォーマットするときは、「フォーマットの種類」で「通常のフォーマット」を選んでください。

6 **[開始] をクリックします。**
フォーマットが始まります。
フォーマット後、「フォーマットの結果」画面が表示されます。

7 **[閉じる] をクリックして「フォーマットの結果」画面を閉じます。**

8 **[閉じる] をクリックして「フォーマット -3.5 インチ FD（A:）」画面を閉じます。**

9 **画面右上の ☒ をクリックして「マイコンピュータ」画面を閉じます。**

フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータを保護するため、次のような点にご注意ください。

シャッタを開けて直接シート(記録面)に触れないでください。

落としたり、上に重いものを載せたり、曲げたりして、衝撃を与えないでください。

液体をこぼさないでください。

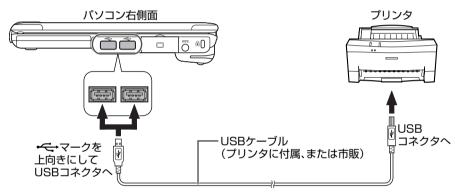
磁気を発生させるもの(磁石、スピーカなど)の近く、直射日光の当たるところや暖房機具の近く、ほこりの多いところなどでの使用･保管は避けてください。

プリンタで印刷する

プリンタを接続して印刷するには、次の準備が必要です。
作業内容や手順などは、プリンタの説明書もあわせて参照してください。

- Windows Me に対応しているプリンタ（USB 接続可能なもの）を用意する。
- パソコンにプリンタを接続する。
- プリンタドライバをパソコンにインストールする。

プリンタを接続する

電源を入れたまま接続できます。
USB コネクタはパソコン左側面に 1 つ、右側面に 2 つあります。ここではパソコン右側面を例に説明しますが、どの USB コネクタに接続してもかまいません。

プリンタドライバをインストールする

プリンタを使用するためには、プリンタドライバのインストールが必要です。
プリンタの説明書を読んで、プリンタドライバをインストールしてください。プリンタに付属のフロッピーディスクや CD-ROM を使うこともあります。

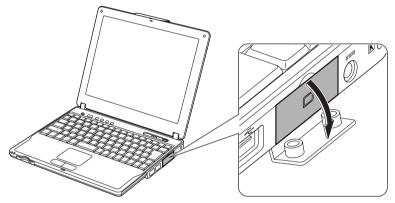
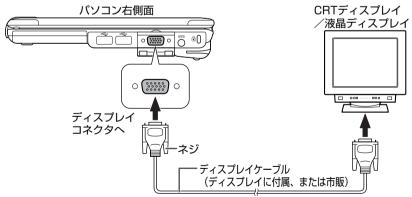
別売のカラーインクジェットプリンタ Prizma をお使いの場合
このパソコンには、別売のカラーインクジェットプリンタPrizma（AJ-2000、AJ-2000LE、AJ-2000ME、AJ-2100）用のプリンタドライバがあらかじめインストールされています。プリンタに付属のプリンタドライバをインストールする必要はありません。

周辺 外部ディスプレイに表示する

ディスプレイコネクタにCRTディスプレイや液晶ディスプレイを接続して、画面を表示することができます。
パソコンのディスプレイと同時表示をするには、1024 x 768 ドット以上が表示可能なディスプレイが必要です。それ以外の外部ディスプレイでは、正常に表示されません。

CRT ディスプレイ／液晶ディスプレイを接続する

1 パソコンとディスプレイの電源を切ります。

2 ディスプレイコネクタのカバーを開けます。

3 パソコンとディスプレイを接続します。
ネジがある場合は、ネジを締めてコネクタを固定してください。

4 ディスプレイの電源を入れます。

5 パソコンの電源を入れます。

ディスプレイドライバをインストールする

CRTディスプレイ／液晶ディスプレイを使用するためには、ディスプレイドライバのインストールが必要な場合があります。ディスプレイの説明書を参照して、ディスプレイドライバをインストールしてください。ディスプレイに付属のフロッピーディスクや CD-ROM を使うこともあります。

外部ディスプレイの解像度を変える

ディスプレイの解像度や色を変える（☞93 ページ）を参照してください。

画面の表示先を切り替える

1 **スタートメニューから「設定」─「コントロールパネル」をクリックし、「画面」アイコンをダブルクリックします。**

「画面のプロパティ」画面が表示されます。

2 **「設定」タブをクリックし、［詳細］をクリックします。**

3 **「画面」タブをクリックし、表示したいディスプレイのボタンをクリックして有効にします。**

複数のディスプレイを有効にすることもできます。

4 **［OK］をクリックします。**

5 確認画面で［はい］をクリックします。

6 ［OK］をクリックして「画面のプロパティ」画面を閉じます。

7 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

> **ご参考**
> 動画の再生中やゲームソフトの使用中は、表示モードが切り替わらないことがあります。

2 つのディスプレイに分けて表示する

内蔵ディスプレイと外部ディスプレイを用いて、ひとつの画面を 2 つのディスプレイに分けて表示させることができます。（マルチモニタ機能）
詳しくは Windows のヘルプを参照してください。

マルチモニタ機能を設定するには

1 スタートメニューから「設定」－「コントロールパネル」をクリックし、「画面」アイコンをダブルクリックします。
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

2 「設定」タブをクリックします。

3 「2」と書かれているディスプレイをクリックします。

4 確認画面で、［はい］をクリックします。

5 ［OK］をクリックして「画面のプロパティ」画面を閉じます。

6 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

プライマリ／セカンダリを変更するには

1 スタートメニューから「設定」－「コントロールパネル」をクリックし、「画面」アイコンをダブルクリックします。
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

2 「設定」タブをクリックし、［詳細］をクリックします。

3 「画面」タブをクリックし、有効になっている表示デバイスのボタンをクリックし、プライマリ／セカンダリを設定します。

4 ［OK］をクリックします。

5 確認画面で、［はい］をクリックします。

6 ［OK］をクリックして「画面のプロパティ」画面を閉じます。

7 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

マルチモニタ機能を解除するには

1 「マルチモニタ機能を設定するには」（☞ 前ページ）の手順 **1** ～ **3** の作業をします。

2 「Windowsデスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする」をクリックしてチェックマークを外し、［OK］をクリックします。

3 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

CRT ディスプレイ／液晶ディスプレイを取り外す

1 パソコンとディスプレイの電源を切ります。

2 パソコンからディスプレイケーブルを取り外します。
ネジをゆるめてコネクタを取り外してください。

周辺 PC カードを使う

PCカードをパソコンのPCカードスロットに差し込むと、周辺機器を接続したときと同じ役割をはたしたり、パソコン自体の機能を増やしたりすることができます。

このパソコンで使える PC カード

- PCMCIA Rel.2.1/JEIDA Ver 4.2 規格に準拠した Type II の PC カード
- CardBus 対応の PC カード

PC カードの種類

PC カードには、次のような種類があります。

メモリカード	データを保存して、持ち運ぶことができます。フロッピーディスクに比べて大容量のデータの保存や移動が可能です。
携帯電話用接続カード	携帯電話を使ってインターネットに接続するためのＰＣカードです。
ISDN 接続用 TA（ターミナルアダプタ）カード	PC カードタイプの TA（ターミナルアダプタ）です。TA を USB コネクタなどに接続した場合と同じ働きをします。
ネットワークカード	ネットワーク（LAN）に接続するための PC カードです。
PC カード型アダプタ	デジタルカメラなどで使うメモリカードに保存されたデータをパソコンに取り込むことができます。
インタフェースカード	SCSI（スカジー）など、規格の違う端子を持つ機器との接続が可能になります。

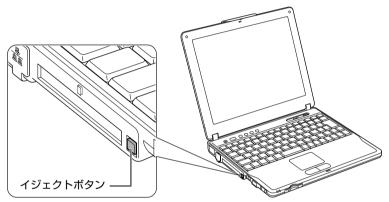
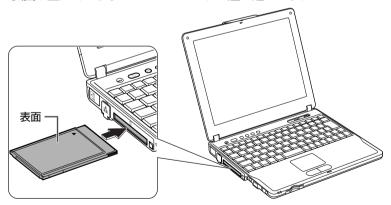
PC カードを差し込む

PC カードスロットは左側面にあります。

ご参考

- 電源を入れた状態で、PC カードを差し込むことができます。
- 初めてPCカードを差し込んだときは、対応するドライバソフトが自動的にインストールされます。インストールされない場合は、警告音が鳴り、画面が表示されますので、画面の指示に従ってドライバソフトをインストールしてください。

1 **イジェクトボタンが飛び出していないことを確認します。**

飛び出している場合は、イジェクトボタンを押し込んでください。

2 **表面が上にくるようにして、しっかりと差し込みます。**

PC カードを取り出す

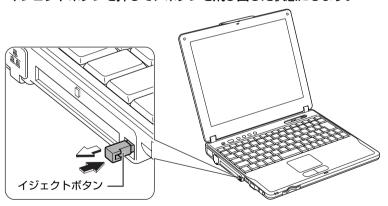
取り出す前に、パソコンの操作で、PC カードの使用を停止する必要があります。

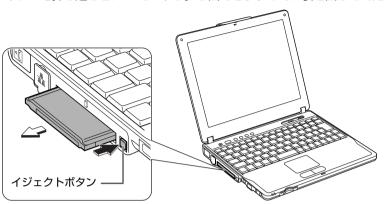
必ず下記の手順どおりに操作してPCカードを取り出してください。正しく操作して取り出さないと、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

1 タスクバーの をクリックします。

2 「XXXXXXXX の停止」をクリックします。

3 [OK] をクリックします。

4 イジェクトボタンを押して、ボタンを飛び出した状態にします。

5 **飛び出したイジェクトボタンを押して、PC カードを取り出します。**

ボタンを押し込むと、PCカードが少し出てきますので、引き出してください。

ご注意 **PC カードは熱くなっていることがあります**

PCカードは、急に強くつかまないでください。PCカードによっては、長時間使用した場合、熱くなるものがあります。取り出すときに注意してください。

6 **イジェクトボタンを押して、元の位置に戻します。**

スマートメディアを使う

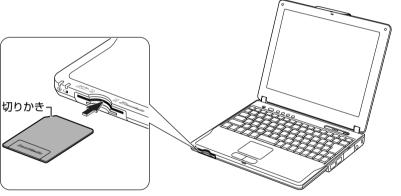
スマートメディアをパソコンのスマートメディアスロットに差し込むと、データを保存したり、デジタルカメラなどで保存された画像データを取り込むことができます。

スマートメディアを差し込む

スマートメディアスロットはパソコン前面にあります。

ご参考

- 電源を入れた状態で、スマートメディアを差し込むことができます。
- このパソコンで使用できるスマートメディアは、3.3Vに対応しているもののみです。5Vに対応しているスマートメディアは使用できません。

1 **金色の面を下、切りかきを左側にして、スマートメディアスロット(上側)に「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込みます。**

「マイコンピュータ」のスマートメディア(M:)ドライブにスマートメディアが認識されます。

ご注意

スマートメディアの表と裏が逆のときは差し込めません。また、向きが違っていても差し込めません。無理に差し込むと故障の原因になります。

スマートメディアを取り出す

必ず下記の手順どおりに操作してスマートメディアを取り出してください。正しく操作して取り出さないと、スマートメディアが壊れたりパソコンが正常に動作しなくなることがあります。

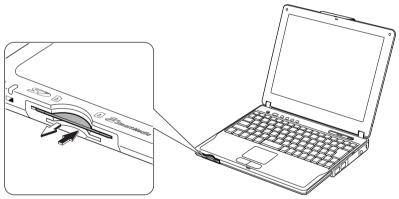
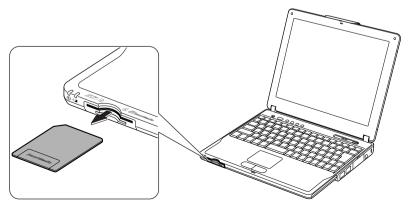
1 **スマートメディアへのデータの書き込み／読み込みが終わっていることを確認します。1MB のデータで約 10 秒かかります。**

書き込み時　:使用していたアプリケーションソフトを終了する

読み込み時　:画面右上の ☒ をクリックしてスマートメディア（M:）ドライブの画面を閉じる

コピー時　　:コピーが終わるまで待つ

2 **スロットのくぼみから見えている部分を、「カチッ」と音がするまで押し込みます。**

スマートメディアが少し出てきます。

3 **スマートメディアをゆっくりと取り出します。**

SD カードを使う

SDカードをパソコンのSDカードスロットに差し込むと、データを保存したり、携帯型音楽端末などに保存された音楽データを移すことができます。

SD カードを差し込む

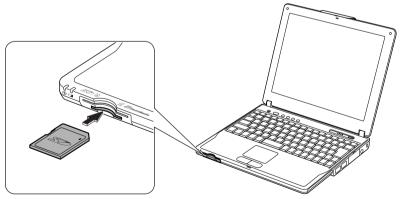
SD カードスロットはパソコン前面にあります。

ご参考

- 電源を入れた状態で、SD カードを差し込むことができます。
- SDカードは、データをやりとりする相手の機器でフォーマットしたものを推奨します。
- このパソコンでは、SD メモリカードのみ対応しています。

1 SDカードの書き込み禁止スイッチを解除位置にして、書き込みできる状態にします。

SDカードに保存されているデータを読み込むだけのときは、書き込み禁止スイッチがLOCK位置にあっても読み込めます。書き込み禁止スイッチについては、SD カードの説明書を参照してください。

2 SD ロゴが上にくるようにして、SD カードスロット(下側)に「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込みます。

「マイコンピュータ」のSDカード(S:)ドライブにSDカードが認識されます。

ご注意

SDカードの表と裏が逆のときは差し込めません。また、向きが違っていても差し込めません。無理に差し込むと故障の原因になります。

SD カードを取り出す

必ず下記の手順どおりに操作してSDカードを取り出してください。正しく操作して取り出さないと、SDカードが壊れたりパソコンが正常に動作しなくなることがあります。

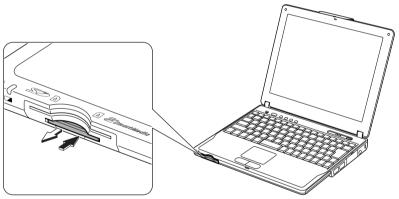
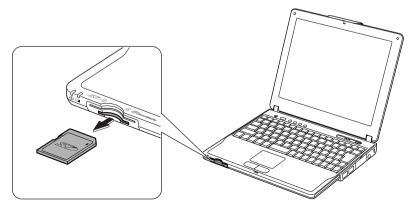
1 **SD カードへのデータの書き込み／読み込みが終わっていることを確認します。1MB のデータで約 10 秒かかります。**

書き込み時　：使用していたアプリケーションソフトを終了する

読み込み時　：画面右上の ☒ をクリックしてSD カード（S:）ドライブの画面を閉じる

コピー時　　：コピーが終わるまで待つ

2 **スロットのくぼみから見えている部分を、「カチッ」と音がするまで押し込みます。**

SD カードが少し出てきます。

3 **SD カードをゆっくりと取り出します。**

メモリを増設する

メモリを増やすと、パソコンが一時的に記憶するデータ容量を増やすことになります。その結果、大容量のデータを処理できるようになったり、複数のアプリケーションソフトを起動しても、快適に操作できるようになります。
このパソコンには、あらかじめ128MB（メガバイト）のメモリが内蔵されています。別売の増設RAMボードを取り付けると、64MBまたは128MBのメモリを追加することができます。

メモリをお買い求めの際は

次の別売増設RAMボードをお求めください。

型名	容量	増設後の合計容量
CE-M554B	64MB	192MB
CE-M555B	128MB	256MB

増設RAMボードを取り付ける／取り外す

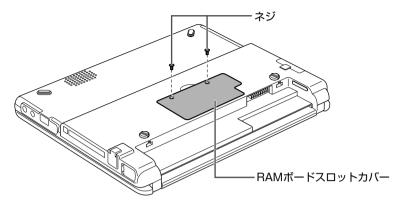
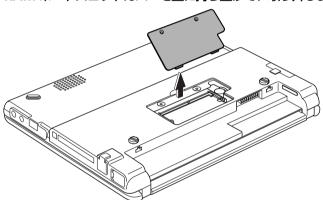
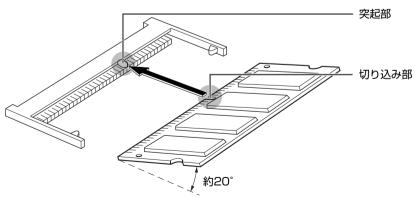
RAMボードは静電気に非常に弱い部品です。そのため、身体に残った静電気などで破損することがあります。取り扱うときは、必ず次の事項を守ってください。

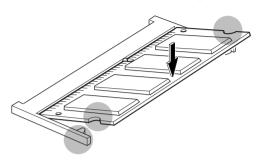
- 取り扱う前に、金属に触れるなどして身体の静電気を逃がしておく。
- 静電気の起きやすい場所（カーペットの上など）では、取り付け作業をしない。
- RAMボードの端子部分は、手で触れない。
- RAMボードを保管するときは、RAMボードを覆っていた静電気保護材、またはアルミ箔などの導電性の保護材で覆う。

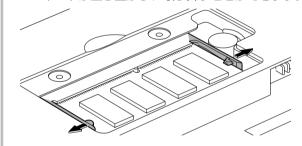
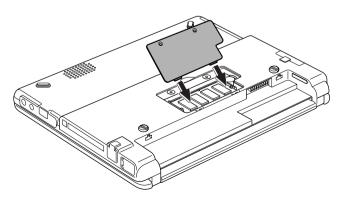
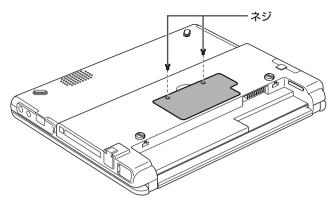
1 パソコンの電源を切り、バッテリパックとACアダプタを取り外します。

バッテリパックの取り外し方については、バッテリパックを交換する（☞74ページ）を参照してください。

- 必ずパソコンの電源を切り、バッテリパックとACアダプタを取り外してください。感電の原因になります。
- 長時間使用した直後は、パソコン内部が熱くなっていることがあります。温度が下がるのを待ってから取り付けてください。

2 **RAM ボードスロットカバーのネジ（2 個）を外します。**

3 **RAM ボードスロットカバーを上に持ち上げて、取り外します。**

4 **RAM ボードの切り込み部を、スロットの突起部に合わせて、斜めにしっかり押し込みます。**

5 **RAM ボードの左右の切り込み部を、スロットの突起部に合わせて、ゆっくりと押し込みます。**

正しく取り付けられると、「カチッ」と音がします。

RAM ボードを取り外すときは

RAM ボードスロットの 2 つのツメを外側に開きます。
RAM ボードが立ち上がり、取り外すことができます。

6 **RAM ボードスロットカバーの 2 箇所のツメをパソコンの切り込み部にはめこみ、しっかり奥まで差し込んでから、静かにカバーを元の位置に戻します。**

7 RAM ボードスロットカバーをネジで固定します。

8 バッテリパックと AC アダプタを取り付けます。

取り付けが終わったら、電源を入れてメモリ容量を確認してください。

メモリの容量を確認する

1 スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「システム」アイコンをダブルクリックします。

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

「システム」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

メモリ容量が表示されます。

（計算上の値より少ない値が表示されることがあります。）

2 ［OK］をクリックして、画面を閉じます。

3 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

付録

付録 シャープ独自のフォントを使う

このパソコンには、シャープ独自のTrue Typeフォント（2書体）がインストールされています。付属のCD-ROMには、さらに11書体が収録されています。

インストールされているフォントを使う

インストールされている2書体は、液晶画面で見やすく、読みやすくなるように設計されたLCフォントです。インターネットのブラウザソフトやメールソフトが読みやすくなります。

この2書体は、各ソフトウェアの画面設定の書体を変更するだけで使用できます。

SH G30-M：すべての文字が同じ幅を持つモノスペースフォントで、文章の本文から小見出しまでの表示に適しています。

SH G30-P ：文字ごとに幅を変えて見た目に美しいように考えられているプロポーショナルフォントで、文字形状に合わせた字詰めにより、より美しく、読みやすい文章を表示できます。

SH G30-M
優Intelligence

SH G30-P
優Intelligence

CD-ROMに用意されているフォントを使う

次の11書体は、お好みのフォントをインストールしてお使いください。

ページデザイナー（ホームページ／マルチメディア文書作成ソフト）がインストールされているモデルでは、※マークのフォントはインストールされています。

SH スリムタッチ	SH 丸ポップ W7	SH 角ポップ W7	SH クリスタルタッチ	SH ダイヤタッチ	SH ブラシタッチ
優 ※	優 ※	優 ※	優	優	優
SH プリンセスタッチ	**SH リボンタッチ**	**SH ロボットタッチ**	**SH つくしタッチ**	**SH 小枝タッチ**	
優	優 ※	優	優	優 ※	

CD-ROMからフォントをインストールする

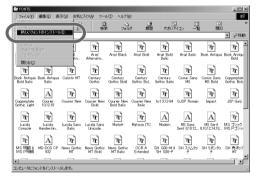
フォントのインストールには、別売のCD-ROMドライブユニット（CE-CD02）が必要です。

1 **付属の「アプリケーションCD-ROMディスク1」をドライブにセットします。**

2 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「フォント」アイコンをダブルクリックします。**

「FONTS」画面が表示されます。

「フォント」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

3 **「ファイル」メニューの「新しいフォントのインストール」をクリックします。**

「フォントの追加」画面が表示されます。

4 **「ドライブ」欄の ▼ をクリックし、リストから「r:」をクリックします。**

5 **「フォルダ」欄で「shpfont」をダブルクリックします。**

「フォントの一覧」欄にフォントが一覧表示されます。

6 **「フォントの一覧」欄でインストールしたいフォントを選び、「[FONTS]フォルダにフォントをコピーする」がチェックされていることを確認して、[OK]をクリックします。**

フォントがインストールされます。

7 **画面右上の × をクリックして「FONTS」画面を閉じます。**

8 **画面右上の × をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

付録 オリジナルの外字を使う

このパソコンでは、あらかじめ「筆王」(はがき作成ソフト)用の外字が登録されています。外字エディタで作成したオリジナルの外字を利用するときは、以下の手順に従って筆王の外字フォントを解除してください。

筆王の外字フォントを解除する

1 **スタートメニューから「プログラム」ー「筆王」ー「外字フォントの登録と解除」をクリックします。**

「外字フォントの登録と解除」画面が表示されます。

2 **「筆王の外字フォントを解除する(登録する前の状態に戻す)」をクリックして選択し、[OK] をクリックします。**

3 **[はい] をクリックします。**

4 **[OK] をクリックします。**

「筆王」用の外字に戻すときは

上記手順**2**で「筆王の外字フォントを登録する」を選択し、[OK] をクリックします。

付録 セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティは、パソコンの動作環境に関する設定（接続した周辺機器の有効／無効、パスワードの設定など）を変更するためのユーティリティです。

セットアップユーティリティの内容は、ご購入時に適切に設定されています。必要なとき以外は操作しないでください。

セットアップユーティリティには、次のようなメニューがあります。

- Main メニュー
- Advanced メニュー
- Security メニュー
- Exit メニュー

ご参考

誤って変更してしまったときは、すべての設定を初期値に戻す（☞145ページ）の操作をしてください。

設定内容を変更する

1 電源を入れます。

2 画面の左下に「Press <F2> to enter SETUP」と表示されているとき、F2 キーを押します。

セットアップユーティリティの画面が表示されます。

3 **各項目を設定します。**

画面の下段に操作案内が表示されています。

← →	：メニューを選びます。
↓ ↑	：項目を選びます。
ー （スペース）	：設定内容を切り替えます。

▶ マークのある項目は

 キーを押すと各項目の詳細な情報が表示されます。

元のメニューへ戻るときは Esc キーを押してください。

4 **Exitメニューで「Exit Saving Changes」を選択し、 ⏎ キーを押します。**

5 **「Save configuration changes and exit now?」と表示されたら、[Yes] を選択し、 ⏎ キーを押します。**

変更した内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、Windows Me が起動します。

ご参考

セットアップユーティリティの操作中は、Windows Meで設定した省電力機能は働きません。ディスプレイを閉じないでください。

Main メニュー

日付と時刻など、システムの基本的な設定項目があります。

System Time

時刻（24 時間制で時：分：秒の順）を設定します。

Tab キーでカーソルを移動させ、 − キー／ （スペース） キーで数値を選択してください。

System Date

日付（月／日／年）を設定します。

Tab キーでカーソルを移動させ、 − キー／ （スペース） キーで数値を選択してください。

Hard Disk Type

ハードディスクの容量が表示されます。ここで ⏎ キーを押すと、ハードディスクのより詳細な情報が表示されます。設定を変更することができますが、通常はご購入時の状態のままお使いください。

Boot Sequence

システムを起動するディスクドライブの優先順位を設定できます。ここで ⏎ キーを押すと、設定画面に移行します。

[Hard Disk Drive]　：内蔵ハードディスクドライブ
[Floppy Disk Drive]　：外付けフロッピーディスクドライブユニット
[CD-ROM Drive]　：外付け CD-ROM ドライブユニット

上にあるドライブから順にシステムを検索します。

↑ キーと ↓ キーで変更したいデバイスを選択し、 − キー／ （スペース） キーで順番を変更します。

Internal NumLock

Fn + NumLk キーを押したときに、数字キーロックモードに切り替える／切り替えないを設定します。

Enabled　：切り替える
Disabled　：切り替えない

※ 設定に関わらず、 Fn + NumLk キーを押すと Ⓝ ランプが点灯します。この場合、市販の外付けキーボードを接続していると、外付けキーボードが数字キーロックモードに切り替わります。

USB Emulation

通常はご購入時のまま「Enabled」でお使いください。

System Memory

コンベンショナルメモリ容量（624KB）が表示されます。

Extended Memory

1MB以上のエクステンドメモリの容量が表示されます。メモリを増設すると、この値は自動的に更新されます。

Bios Version

搭載されている BIOS のバージョンが表示されます。

Advanced メニュー

パソコンの入力デバイスや画面、バッテリ警告音の設定項目があります。

Internal Pointing Device

パソコンのパッド型ポインティングデバイスの有効／無効を設定します。通常はご購入時のまま「Enabled」をお使いください。

Enabled　：有効
Disabled　：無効

Resolution Expansion

画面解像度が「640 × 480 ドット」または「800 × 600 ドット」のとき、画面の表示をディスプレイ全体に引き延ばして表示するかを設定します。

Enabled　：表示する
Disabled　：表示しない

Large Disk Access Mode

通常は、ご購入時の設定（DOS）のままお使いください。

Battery Low Warning Beep

バッテリパックの容量が少なくなったときに、警告音を鳴らすかどうかを設定します。

Enabled　：鳴らす
Disabled　：鳴らさない

Security メニュー

パスワードについての設定項目があります

PhoenixBIOS Setup Utility
Main Advanced Security Exit

		Item Specific Help
Supervisor Password Is	Clear	
User Password Is	Clear	
Set Supervisor Password	[Enter]	
Set User Password	[Enter]	
Password On Boot	[Disabled]	
Hard Disk Boot Sector	[Normal]	

F1 Help ↑↓ Select Item -/Space Change Values F9 Setup Defaults
Esc Exit ←→ Select Menu Enter Select ▶ Sub-Menu F10 Save and Exit

Supervisor Password Is

スーパーバイザパスワードが登録されていないときは「Clear」と、登録されているときは「Set」と表示されます。

User Password Is

ユーザパスワードが登録されていないときは「Clear」と、登録されているときは「Set」と表示されます。

Set Supervisor Password

スーパーバイザパスワードを設定します。9 文字までの英数字で設定してください。

Set User Password

ユーザパスワードを設定します。9 文字までの英数字で設定してください。

Password On Boot

システム起動時に、パスワードの入力が必要かを設定します。

Enabled ：パスワード入力が必要
Disabled ：パスワード入力が不要

Hard Disk Boot Sector

ハードディスクドライブのブートセクタへの書き込みを禁止するかを設定します。ハードディスクドライブのフォーマットや再インストールするときは「Normal」に設定してください。
ご購入時の設定では、「Normal」になっています。

Normal ：書き込みを禁止しない
Write Protect ：書き込みを禁止する

セットアップユーティリティのパスワードを登録／変更／削除する

パスワードを登録しておくと、起動時にパスワード入力画面が表示され、パスワードを知らない人の使用を防ぐことができます。
パスワードには、「スーパーバイザパスワード」と「ユーザパスワード」の2つがあります。ユーザパスワードは、スーパーバイザパスワードを設定しているときだけ設定できます。
パスワードを設定すると、セットアップユーティリティの設定を変更するときに、パスワード要求メッセージが表示されます。
入力するパスワードによって次の制限があります。

スーパーバイザパスワード	すべての項目を設定できます。
ユーザパスワード	次のものは設定できません。 Main メニュー • Hard Disk Type • Boot Sequence • USB Emulation Advanced メニュー • Large Disk Access Mode Security メニュー • Set Supervisor Password • Password On Boot • Hard Disk Boot Sector Exit メニュー • Load Setup Default • Discard Changes

必要のないときは、パスワードを設定しないでください。パスワードを忘れると、パソコンが起動できなくなります。

1 Security メニューを選択します。

設定項目が表示されます。

2 スーパーバイザパスワードを登録／変更／削除するときは「Set Supervisor Password」、ユーザパスワードを登録／変更／削除するときは「Set User Password」を選んで、[↵] キーを押します。

パスワード入力画面が表示されます。

数字キーロックモードは解除しておくことを、お勧めします。

パスワードは、9 文字までの半角英数字、および記号で設定してください。

はじめて登録するとき

① 「Enter New Password」で、パスワードを入力し、[↵] キーを押します。

② 「Confirm New Password」で、確認のためもう一度同じパスワードを入力し、[↵] キーを押します。

変更／削除するとき

① 「Enter Current Password」で、現在のパスワードを入力し、[↵] キーを押します。

② 「Enter New Password」で、新しいパスワードを入力し、[↵] キーを押します。

③ 「Confirm New Password」で、確認のためもう一度同じパスワードを入力し、[↵] キーを押します。

パスワードを削除するときは、手順 ② と ③ で何も入力せずに [↵] キーを押します。

3 [↵] キーを押します。

4 Exit メニューで「Exit Saving Changes」を選択し、[↵] キーを押します。

5 「Save configuration changes and exit now?」と表示されたら、[Yes] を選択し、[↵] キーを押します。

設定内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、Windows Meが起動します。

パスワードを登録したパソコンを起動する

起動時に表示されるパスワード入力画面(下記)にパスワードを入力します。入力しないと、次の操作に進むことができません。

パスワードの入力を間違えると、「Setup Warning」と表示されますので、[↵]キーを押してパスワードを再入力してください。パスワードの入力を3回間違えると、「System Disabled」と表示されて起動できなくなります。このときは、電源ボタンを押して電源を切り、その後5秒以上たってから、電源を入れ直してください。

パスワードの使用例

・個人でお使いになるとき

スーパーバイザパスワードのみを設定しておくと、他の人がこのパソコンを使用できなくなります。

・複数の人と共同でお使いになるとき

このパソコンを管理する人が、スーパーバイザパスワードとユーザパスワードの両方を設定し、ユーザパスワードのみを各利用者に知らせておきます。

このようにしておくと、パソコンの設定を変更したり一部の機能を使える権利を、管理する人のみに制限することができます。

Exit メニュー

セットアップユーティリティの設定を、取り消す、初期値に戻す、設定内容に変更するなどを選んで、終了する画面です。

Exit Saving Changes
変更内容を保存して、セットアップユーティリティを終了します。

Exit Discarding Changes
変更内容を保存しないで、セットアップユーティリティを終了します。

Load Setup Default
セットアップユーティリティのすべての項目を初期値に戻します。

Discard Changes
セットアップユーティリティのすべての項目を前回保存した値に戻します。

Save Changes
変更内容を保存します。

すべての設定を初期値に戻す

以下の操作をしてください。

1. **Exit メニューの「Load Setup Default」を選択し、[Enter] キーを押します。**
2. **「Load default configuration now?」と表示されたら、[Yes] を選択し、[Enter] キーを押します。**
3. **Exit メニューの「Exit Saving Changes」を選択し、[Enter] キーを押します。**
4. **「Save configuration changes and exit now?」と表示されたら、[Yes] を選択し、[Enter] キーを押します。**
   設定内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、Windows Meが起動します。

付録 パソコンのお手入れ

お手入れをする際は、電源を切っておいてください。

キャビネット／通風孔

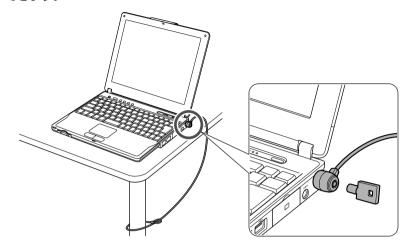
ほこりの出ない乾いた柔らかい布で拭きます。
通風孔にほこりなどが付着すると、本体の換気を妨げるおそれがあります。

ディスプレイ／パッド型ポインティングデバイス

ほこりの出ない乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、少量の中性洗剤を含ませて拭いてください。

お手入れの際に、アルコール、ベンジン、シンナーなどの強い化学薬品やぬれぞうきんは使用しないでください。変形・変色の原因となります。

盗難を防止する

市販の盗難防止ロックを盗難防止ホール（ K ）につなぐと、パソコンを持ち運べないように固定することができます。

ご参考

盗難防止ホールは、マイクロセーバーセキュリティシステム等のセキュリティワイヤーに対応しています。製品についてのお問い合わせ先は、以下のとおりです。

日本ポラデジタル株式会社
〒 104-0032　東京都中央区八丁堀 1-5-2　はごろもビル
Tel：03-3537-1070　　Fax：03-3537-1071
URL：http://www.poladigital.co.jp

付録 故障かな？と思ったら

“故障かな？”と思っても、調べてみると故障ではないこともあります。修理をご依頼になる前に、ここに記載されている内容をお確かめください。
トラブルによっては、パソコンの故障ではなく、Windows Me やアプリケーションソフト、または周辺機器に関するトラブルの場合もあります。次の説明書やヘルプもあわせて参照してください。

- スタートメニューの「ヘルプ」をクリックして表示されるヘルプ画面
- お使いのアプリケーションソフトの説明書、ヘルプ
- お使いの周辺機器の説明書

アプリケーションソフトが起動しないとき、または動作が不安定なときは

アプリケーションソフトを再インストールすると直る場合もあります。アプリケーションソフトの再インストールについては、**アプリケーションソフトを削除する･再インストールする**（☞172 ページ）を参照してください。

それでも問題が解決しないときは

一度パソコンのハードディスクを初期化して、改めてご購入時の状態に戻すこと(再インストール)をお勧めします。付属のプロダクトリカバリCD-ROMを使って、ハードディスクの内容をご購入時の状態に戻すことができます。 詳しくは、**ご購入時の状態に戻す（再インストール）**（☞157 ページ）を参照してください。

Windows 起動時（電源を入れたとき）のトラブル

? 電源を入れても ⏻ ランプ、または ▭ ランプが点灯しない

- AC アダプタが正しく接続されているか確認してください。
- 別の電気機器をコンセントに接続し、電源コンセントに電気がきているか確認してください。
- バッテリパックが正しくセットされ、充電されているか確認してください。
- バッテリの容量が一定水準以下のときは、AC アダプタを接続してください。
- 上記すべての操作をしてもだめなときは、キーボードやパッド型ポインティングデバイスからの入力操作を受け付けない （☞151 ページ）の操作をしてください。

?「Invalid system disk」と表示される

- 外付けフロッピーディスクドライブにフロッピーディスクがセットされている場合は、フロッピーディスクを取り出し、何らかのキーを押してください。

? フロッピーディスクから起動できない

- 外付けフロッピーディスクドライブユニットが正しく接続されているか確認してください。
- フロッピーディスクドライブにセットしたフロッピーディスクが起動用かどうか確認してください。
- セットアップユーティリティ（☞137ページ）のMainメニューで、「Boot Sequence」の設定が「Floppy Disk Drive」になっているか確認してください。

?「Press <F1> to resume, <F2> to setup」と表示される

- セットアップユーティリティの設定が消えています。セットアップユーティリティを起動し、セットアップユーティリティの各項目を初期値に戻します。（必ず日付と時刻を設定してください。）

?「OS not found」と表示された

- パソコンのハードディスクドライブが認識されていません。セットアップユーティリティを起動し、セットアップユーティリティの各項目を初期値に戻します。（必ず日付と時刻を設定してください。）

画面表示に関するトラブル

? 画面が表示されない

- 何らかのキー、または電源ボタンを押して省電力機能が働いていないか確認してください。
- パソコンの電源が入っているか確認してください。
- 標準バッテリパックまたはアドオンバッテリが正しくセットされ、充電されているか確認してください。
- Fn ＋ F5 キーを数回押し、表示先が外部ディスプレイになっていないか確認してください。
- Fn ＋ F11 キーを押し、ディスプレイがオフになっていないか確認してください。
- 上記すべての操作をしてもだめなときは、**キーボードやパッド型ポインティングデバイスからの入力操作を受け付けない**（☞ 次ページ）の操作をしてください。

? 外部ディスプレイに何も表示されない／表示される画面が乱れる

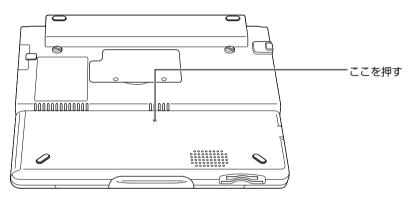
- 外部ディスプレイの電源が入っているか確認してください。
- 外部ディスプレイが正しく接続されているか確認してください。
- Fn ＋ F5 キーを数回押し、表示先が内蔵ディスプレイになっていないか確認してください。
- Fn ＋ F5 キーで表示先を切り替えると、まれに画面が正常に表示されないことがあります。再度 Fn ＋ F5 キーで表示先を元に戻し、Windows Meのコントロールパネルの「画面」で表示先を変えてください。
- 画面の領域の設定が外部ディスプレイの解像度より大きくなっていないか確認してください。
- ラジオやテレビなど強い磁界が発生するものから、十分離して設置してください。
- ラジオやテレビなどと別のコンセントに接続してください。

? Fn ＋ F5 キーで画面が切り替わらない

- Windows Meのコントロールパネルの「画面」で、表示先を切り替えてください。
- マルチモニタ機能が有効になっている場合は、表示先を切り替えることはできません。
- 動画の再生中やゲームソフトの起動時は、画面の表示先が切り替わらないことがあります。そのときは動画やゲームソフトを終了してください。

キーボード・パッド型ポインティングデバイスに関するトラブル

? キーボードやパッド型ポインティングデバイスからの入力操作を受け付けない

- 以下の手順に従って操作してください。
  ① Ctrl ＋ Alt ＋ Delete キーを押し、表示される画面の指示に従って操作してください。
  ② 上記の操作をしてもだめなときは、電源ボタンを4秒以上押し続けて強制的に電源を切り、その後 5 秒以上間隔をおいて再度電源を入れてください。
  ③ 上記の操作をしてもだめなときは、ハードディスクランプが点灯していないことを確認した上で、リセットスイッチを先のとがったもの（ボールペンなど）で押して電源を切り、その後 5 秒以上間隔をおいて電源を入れてください。

? パッド型ポインティングデバイスが正しく動作しない

- ポインティングデバイスのパッド面や手が、水や汗でぬれていないか確認してください。パッド面が汚れているときは、汚れを拭き取ってください。

フロッピーディスクに関するトラブル

? フロッピーディスクへのデータの書き込みや読み取りができない

- フロッピーディスクドライブユニットが正しく接続されているか確認してください。
- フロッピーディスクが正しくセットされているか確認してください。
- ドライブ、ファイル名の指定に誤りがないか確認してください。
- フロッピーディスクがフォーマットされていないか、壊れている可能性があります。フォーマットするか、別のフロッピーディスクをセットしてください。
- フロッピーディスクに書き込めない場合は、書き込み禁止状態になっていないか確認してください。
- フロッピーディスクに書き込めない場合は、フロッピーディスクの空き容量が不足していないか確認してください。

? 1.2MB タイプのフロッピーディスクが使えない

1.2MB タイプのフロッピーディスクには、次の制限があります。

- 1.2MB タイプのディスクでは起動できません。
- 1.2MB タイプのフロッピーディスクにはフォーマットできません。
- SYS、DRVSPACE、DISKCOPY などのコマンドは実行できません。
- データを保存するときや1.44MBのディスクを使用するコンピュータとデータをやりとりするときは使わないでください。
- 特殊なフォーマットタイプ(2HD-1.21MBタイプなど)のディスクに対しては読み書きできません。

ハードディスクに関するトラブル

? ハードディスクへのデータの書き込みや読み取りができない

- ドライブ、ファイル名の指定に誤りがないか確認してください。
- ハードディスクの空き容量が不足していないか確認してください。

CD に関するトラブル

? Windows Me CD-ROM を要求するメッセージが表示される

- 「ファイルのコピー元」に次のように入力してください。
  C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS

? データの読み取りができない／ファイルの再生ができない

- CD-ROM ドライブユニットが正しく接続されているか確認してください。
- CD-ROMドライブユニットにディスクが正しくセットされているか確認してください。
- ドライブ、ファイル名の指定に誤りがないか確認してください。
- ディスクに汚れや傷がないか確認してください。
- 再生しようとしているディスクやファイルがサポートされているか確認してください。
- 以下の手順に従って、「挿入の自動通知」にチェックマークを付けてください。
  ① スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「システム」アイコンをダブルクリックします。
  「システム」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。
  ② 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「CD-ROM」をダブルクリックします。

③「MATSHITA UJDAXXX」をクリックし、[プロパティ] をクリックします。
④「設定」タブをクリックします。
⑤「挿入の自動通知」をクリックしてチェックマークを付け、[OK]をクリックします。
⑥ [閉じる] をクリックします。
⑦ 確認画面で [はい] をクリックします。
Windows が再起動されます。

通信に関するトラブル

? 内蔵モデムで通信ができない

- 電話回線がモデムジャックに正しく接続されているか確認してください。
- Windows Meや通信ソフトでのダイヤル方法(パルス式、トーン式)の設定が、接続された電話回線の種類と一致しているか確認してください。
- モデムの所在地情報の「国名／地域」が「日本」に設定されているか確認してください。
- ネットワーク関連の設定(ネームサーバアドレスなど)が正しいか確認してください。
- 接続する際に設定するユーザ名やパスワードが正しいか確認してください。
- 通信ソフトウェアの COM ポートが正しく設定されているか確認してください。
- Windowsの電源の管理のプロパティで「システムスタンバイ」が「なし」になっているか確認してください。
- 回線ルート自動切替装置を取り付けていませんか？
  電話料金がもっとも安くなる回線を自動的に選択する装置を取り付けている場合は、モデムが正常に働かない可能性があります。装置を取り外すか、装置のメーカーにご相談ください。
- ホームテレホンやビジネスホンに接続していませんか？
  ホームテレホン、ビジネスホン、ボタン電話、キーテレホンなど多機能電話のジャックに、内蔵モデムを接続することはできません。切替機を用いて電話とモデムを切り替える必要があります。切替機については、多機能電話のメーカーにお問い合わせください。
- 構内交換機 (PBX) に接続していませんか？
  構内交換機(PBX)にはデジタル回線のものがあり、その場合は内蔵モデムが使えません。PBXの保守部門やサービス会社に問い合わせて、家庭用一般電話回線と同等であることを確認してください。

● キャッチホンを利用していませんか？
NTTのキャッチホンサービスを利用していると、別の電話がかかってきたとき、通信が中断します。キャッチホンIIを利用すると、その心配がなくなります。詳しくは、ご契約の電話会社（NTT など）にお問い合わせください。

? 内蔵モデムでの通信速度が遅い

● 開いているアプリケーションソフトの数をできるだけ減らしてください。
● 接続先や時間帯を変えてみてください。

? 内蔵 LAN でハブに接続してもうまく使えない

● ネットワークの設定がネットワーク環境に合っていない可能性があります。下記の操作に従ってネットワークの設定を確かめてください。

① スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。
「ネットワーク」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。
② 「現在のネットワークコンポーネント」欄の「Realtek RTL8139 Family PCI Fast Ethernet NIC」を選択して、［プロパティ］をクリックします。
③ 「詳細設定」タブをクリックし、「プロパティ」欄の「Link Speed/Duplex Mode」を選択します。
④ 「値」を使用する環境に合った値に変更します。
⑤ ［OK］をクリックして「ネットワークの設定」画面に戻り、［OK］をクリックします。
⑥ 確認画面で、［はい］をクリックします。
Windows が再起動します。

周辺機器を使用する際のトラブル

? 増設機器や周辺機器の機能が働かない

● 周辺機器が Windows Me に対応しているか確認してください。
● 機器が正しく取り付けられているか確認してください。
● 拡張した機器に必要なデバイスドライバが組み込まれているか確認してください。

? プリンタへの出力ができない

● プリンタの電源が入っているか確認してください。
● プリンタが正しく接続されているか確認してください。
● プリンタが印字可能状態か確認してください。

- 用紙が正しくセットされているか確認してください。
- プリンタドライバがインストールされているか確認してください。

? 接続した通信機器が正常に動作しない

- Windowsの電源の管理のプロパティで「システムスタンバイ」と「システム休止状態」が「なし」になっているか確認してください。それでも通信できないときは、「ハードディスクの電源を切る」を「なし」に設定してください。

? パソコンリンク機能付き MD ポータブルレコーダを接続して録音したときに音がとぶ

- 動作状況によっては音とびが発生する場合があります。音とびを極力防ぐため、MD へ録音するときは、録音に関係ないソフトウェアはすべて終了させてください。

その他のトラブル

? バッテリパックを充電してもすぐに空になる

- バッテリパックを初期化してください。（☞73 ページ）

? 日本語の入力ができない

- 日本語入力システムがオンになっているか確認してください。（☞89 ページ）

? 日付と時刻が正しく表示されない

- 「コントロールパネル」の「日付と時刻」で設定し直してください。

? ハードウェア（デバイス）が使用できない

- 以下の手順に従って操作してください。
  ① スタートメニューから「設定」－「コントロールパネル」をクリックし、「システム」アイコンをダブルクリックします。
  「システム」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。
  ② 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
  ③ 対応するデバイスをクリックし、[プロパティ] をクリックします。
  ④ 「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」をクリックしてチェックマークを外し、[OK] をクリックします。
  ⑤ [閉じる] をクリックします。

? 音が鳴らない

- 音量が最小、またはミュートに設定されていないか確認してください。

? 電源が切れない

- キーボードやパッド型ポインティングデバイスからの入力操作を受け付けない（☞151 ページ）の操作をしてください。

? 本体が熱くなる

- バッテリ充電中に、バッテリパックおよびその周辺やキーボードの手前側が熱くなることがありますが、故障ではありません。

? 「リソース不足」のメッセージが表示される

- 起動中の不要なアプリケーションソフトを終了してください。

? マイクからの音声を入力できない

- 以下の手順に従って操作してください。
  ① タスクバーの 🔈 をダブルクリックします。
  ② 「オプション」メニューをクリックし、「プロパティ」をクリックします。
  ③ 「音量の調整」欄の「録音」をクリックし、[OK] をクリックします。
  ④ 「録音の調節」画面で「マイク」の「選択」にチェックマークが付いているか確認してください。

付録 ご購入時の状態に戻す（再インストール）

ここでは、パソコンをご購入時の状態に戻す（再インストールする）方法について説明します。
再インストールすると、ハードディスクの内容はすべて消去されてしまいます。再インストールが必要かどうかよく確認してから始めてください。

ご参考

故障かな？と思ったら（☞148ページ）に問題が起こったときの解決方法が書かれています。再インストールをする前に、あてはまる項目がないか調べてみてください。

再インストールの準備をする

大切なデータをバックアップする

再インストールすると、ご購入後にハードディスクに保存されたファイルや、インストールされたアプリケーションソフトなども消えてしまいます。大切なデータは、再インストールをする前に必ずバックアップしておいてください。（☞96 ページ）
また、再インストールすると、インターネットなどの設定をし直す必要があります。現在の設定内容を必ずメモに控えてください。（☞100 ページ）

必要なものを準備する

再インストールでは、付属のCD-ROMからハードディスクへデータをコピーするために別売の CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブが必要です。

CD-ROM ドライブ／ CD-R/RW ドライブ

- CD-ROM ドライブユニット CE-CD02（別売）
- CD-R/RW ドライブユニット CE-CW05（別売：2001 年 8 月発売予定）

CD-ROM

- プロダクトリカバリ CD-ROM（2 枚）

説明書

- はじめにお読みください

ご参考

付属の CD-ROM は他のパソコンでは使用できません。
また、再発行はできませんので、なくさないよう大切に保管してください。

ソフトウェア使用許諾契約書を読む

再インストールをするときには、PowerQuest EasyRestoreを使用します。再インストールの前に、下記の「PowerQuest Corporationソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。

PowerQuest Corporationソフトウェア使用許諾契約書

本使用許諾契約書(以下「契約書」)は、お客様とPowerQuest Corporationとの間に締結される法的な契約書です。同封のソフトウェアを使用することにより、本契約書の各条項に同意したことになります。本契約書で言う「ソフトウェア製品」とは、本契約書が添付されたCDやディスク媒体、またはネットワークからロードされるEasyRestoreソフトウェアを意味します。

1.　所有権

ソフトウェア製品はPowerQuest Corporation(以下「PowerQuest」)またはそのライセンサーが有するものであり、著作権法および国際条約の規定により保護されています。ソフトウェア製品、その複製物、修正物、構成部分についての権原および著作権は、PowerQuestまたはそのライセンサーに帰属します。

2.　ライセンスの許諾

本契約書はお客様に以下の権利を許諾します。
・ソフトウェア製品は、コンピュータシステムに既にインストールされているソフトウェアのバックアップ目的で作成されたイメージファイルに付属して提供され、当該イメージファイルを復元する目的にのみ使用することができます。
・ソフトウェア製品は、当該イメージファイルが付属して提供された特定のコンピュータシステムでのみ、使用することができます。

3.　使用制限

PowerQuestの許可なく、
(a) 本契約書で許諾された範囲を超えて、ソフトウェア製品の使用、複製、改造、修正してはならず、電子的または他の方法で転送することはできません。
(b) ソフトウェアを翻訳、リバースプログラム、逆アセンブルまたは逆コンパイル、またはその他の方法でリバースエンジニアリングすることはできません。

4.　技術サポート

ソフトウェア製品へのサポートは、PowerQuestおよび日本総代理店である(株)ネットジャパンが提供するものではありません。製品サポートに関しては、ソフトウェア製品をお客様に販売した供給者にお問い合わせください。

5.　アメリカ合衆国政府が制限されている権利

お客様が、アメリカ合衆国政府の省庁、またはその機関に代わってソフトウェア製品を取得する場合には、以下の規定が適用されます。
・ソフトウェア製品がプライベートな費用で開発されており、いかなる部分もパブリックドメインからの流用ではないこと。
・ソフトウェア製品が制限された権利と共に供給されていること。
・政府が使用、複製、または開示を行なう場合は、DFARS 第252.227-7013の条項に定める技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する権利の補節 (c) (1)(ii)、また48 CFR 第52.227-19に定める商用コンピュータソフトウェアー制限された権利の補節 (c) (1) および(2)の規制に従うものとします。契約者／製造元は、PowerQuest Corporation / P.O.Box 1911 Orem, UTA 84059-1911です。

6.　限定保証

PowerQuestは、ソフトウェア製品について、お客様に直接に保証するものではありません。
PowerQuestは、ソフトウェア製品を販売した供給者に対して、ソフトウェア製品がドキュメントに従って動作することを保証してます。ソフトウェア製品がドキュメントに従って動作しない場合にPowerQuestは修復し、当該供給者が修復後のソフトウェア製品を配布することを認めます。

7.　責任の制限

PowerQuestおよび供給者は、いかなる場合においても、ソフトウェア製品の使用または使用不能から生じるいかなる損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、またはその他の金銭的損害を含むがこれらに限定されない)について、責任を負いません。例え、PowerQuestがかかる損害の可能性について通知を受けていた場合であっても、同様です。

本契約書は、対象条項に関するお客様とPowerQuest間の完全な合意を構成するものです。本契約書は、(法の抵触の諸原則以外は)ユタ州法を準拠法とします。

詳細：本使用許諾契約に関する質問がある場合は、PowerQuestか、日本総代理店である(株)ネットジャパン宛、書面にて連絡してください。

PowerQuest Corporation / P.O.Box 1911 Orem, UTA 84059-1911
(株)ネットジャパン／〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-18-3

パソコンを準備する

1 **パソコンの電源が切れていることを確認します。**

2 **パソコンに周辺機器（USB 機器、PC カードなど）が接続されている場合は、周辺機器を取り外します。**

3 **パソコンにCD-ROM ドライブ またはCD-R/RW ドライブを取り付けます。**

CD-ROMドライブの接続方法については、**CDからデータを読み取る**（☞107ページ）を参照してください。CD-R/RWドライブの接続方法については、CD-R/RW に付属の説明書を参照してください。

4 **パソコンおよび CD-ROM ドライブ（CD-R/RW ドライブ）に AC アダプタを取り付けます。**

必ずACアダプタは接続しておいてください。バッテリで操作していると、途中でバッテリ残量がなくなったとき、再インストールが完了できなくなります。

再インストールの手順を確認する

再インストールは以下の手順でします。

Step1　セットアップユーティリティの設定を変更する

⇩

Step2　プロダクトリカバリ CD-ROM の内容を再インストールする

⇩

Step3　Windows Me をセットアップする

⇩

Step4　セットアップユーティリティの設定を初期値に戻す

⇩

これでハードディスクの内容は、ご購入時の状態に戻ります。

Step1 セットアップユーティリティの設定を変更する

1 **パソコンの電源を入れ、画面の左下に「Press <F2> to enter SETUP」と表示されているとき、F2 キーを押します。**

セットアップユーティリティの画面が表示されます。

2 **「プロダクトリカバリ CD-ROM ディスク 1」をドライブにセットします。**

3 **設定を初期値に変更します。**

① Esc キーを押します。
Exit メニュー画面が表示されます。

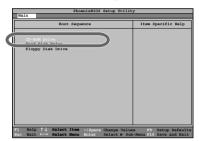
② ↓ キーを押して「Load Setup Default」（すべての項目を初期値に戻す）を選択し、⏎ キーを押します。

③ 「Load default configuration now?」（設定を初期値に変更しますか？）と表示されたら、[Yes] を選択し、⏎ キーを押します。

4 **CD-ROMから起動するようにします。**

① [→] キーを押します。
Mainメニュー画面が表示されます。

② [↓] キーを押して「Boot Sequence」を選択し、[⏎] キーを押します。
Boot Sequence画面が表示されます。

③ [↓] キーを押して「CD-ROM Drive」を選択し、[（スペース）] キーを押して「CD-ROM Drive」を一番上にします。

④ [Esc] キーを押します。
Mainメニュー画面に戻ります。

5 **設定を保存してセットアップユーティリティを終了します。**

① [Esc] キーを押します。
Exitメニュー画面が表示されます。

②「Exit Saving Changes」（変更内容を保存して終了）が選択されていることを確認し、[⏎] キーを押します。

③「Save configuration changes and exit now?」（設定を保存して終了しますか？）と表示されたら、［Yes］を選択し、[⏎] キーを押します。
パソコンが再起動され、次の画面が表示されます。

```
Microsoft Windows Millennium Startup Menu
------------------------------------------

1.PCMCIA CD-ROM (CE-CD02)
2.USB   CD-R/RW (CE-CW05)


Enter a choice: 1
```

6 **「Enter a choice：」に「1」が表示されていることを確認し、[↵] キーを押します。**

> **USB 接続 CD-R/RW ドライブユニットをお使いの場合**
> 別売の USB 接続 CD-R/RW ドライブユニット（CE-CW05：2001 年 8 月発売予定）を使って再インストールする場合は、「2」と入力し、[↵] キーを押してください。

7 **次の「Step2　プロダクトリカバリ CD-ROM の内容を再インストールする」に進みます。**

Step2　プロダクトリカバリ CD-ROM の内容を再インストールする

ここではDドライブの内容はそのままにして、Cドライブのみをご購入時の状態に復元する方法を説明します。

パソコンが起動した後で次の画面が表示されます。

ご参考

- この操作では、Dドライブはフォーマットされません。
- ハードディスク全体をご購入時の状態に復元することができます。**ハードディスク全体を再インストールする**（☞170ページ）を参照してください。
- ハードディスクのCドライブとDドライブの容量を変更して、Cドライブにご購入時のハードディスクの内容を復元することができます。**任意のサイズにハードディスク容量を分割して再インストールする**（☞168ページ）を参照してください。

1 **「C:ドライブのみをご購入時の状態に復元します（推奨）」が選択されていることを確認し、[↵] キーを押します。**

終了しますを選択したときは

「終了します」を選択し、[↵] キーを押すと、E:¥>が表示されます。「プロダクトリカバリ CD-ROM ディスク 1」をドライブから取り出し、電源ボタンを押して電源を切ってください。

2 **↑** **↓** **キーで「C:ドライブの復元を開始」を選択し、⏎ キーを押します。**

ハードディスクのフォーマット（初期化）と内容の復元が始まります。
フォーマットと復元が完了するまでに、約 20 分かかります。

ご注意

フォーマット中および復元中は、画面に進行状況が表示されます。「ファイル” R:＼MEBIUS.002” が入っているメディア 2 をドライブ R:に挿入してください」と表示されるまで、何も操作しないでください。再インストールを途中で中止してしまうと、C ドライブだけでなく D ドライブにバックアップしたデータも削除されてしまいます。その場合は、ハードディスク全体を再インストールする（☞170ページ）の手順に従って再インストールし直してください。

3 **「ファイル” R:＼MEBIUS.002” が入っているメディア 2 をドライブ R:に挿入してください」と表示されたら、ドライブを開いて「プロダクトリカバリ CD-ROM ディスク 1」を取り出し、「プロダクトリカバリ CD-ROM ディスク 2」をセットします。**

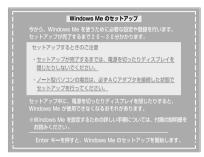
4 **[OK] が選択されていることを確認し、⏎ キーを押します。**

5 **「ハードディスクのリカバリ処理が終了しました」と表示されたら、ドライブを開いて「プロダクトリカバリ CD-ROM ディスク 2」を取り出します。**

6 **次の「Step3　Windows Me をセットアップする」に進みます。**

Step3 Windows Me をセットアップする

「ハードディスクのリカバリ処理が終了しました」と表示された後、パソコンが再起動されます。

しばらくすると「Windows Me のセットアップ」画面が表示されます。

1 **「はじめにお読みください」（別冊）の「Step3 Windows Meのセットアップ」の手順3～手順25を参照して、Windows Meをセットアップします。**
ただし、オンラインユーザ登録はする必要がありませんので、省略して進んでください。

2 **Windowsが起動されたら、モデムの所在地情報の「国名／地域」を「日本」に設定します。**
設定方法については、使用する電話回線を設定する（☞29ページ）を参照してください。

3 **次の「Step4 セットアップユーティリティの設定を初期値に戻す」に進みます。**

Step4 セットアップユーティリティの設定を初期値に戻す

Windows が起動された状態から作業します。

1 **Windows を終了します。**

2 **約 5 秒待ってから、パソコンの電源を入れ、画面の左下に「Press <F2> to enter SETUP」と表示されているとき、F2 キーを押します。**

セットアップユーティリティの画面が表示されます。

3 **設定を初期値に変更します。**

① Esc キーを押します。

Exit メニュー画面が表示されます。

② ↓ キーを押して「Load Setup Default」（すべての項目を初期値に戻す）を選択し、⏎ キーを押します。

③「Load default configuration now?」（設定を初期値に変更しますか？）と表示されたら、［Yes］を選択し、⏎ キーを押します。

ご参考

セットアップユーティリティの項目は、必要に応じて設定し直してください。

4 設定を保存してセットアップユーティリティを終了します。

① Esc キーを押します。

Exit メニュー画面が表示されます。

②「Exit Saving Changes」（変更内容を保存して終了）が選択されていることを確認し、 ⏎ キーを押します。

③「Save configuration changes and exit now?」（設定を保存して終了しますか？）と表示されたら、［Yes］を選択し、 ⏎ キーを押します。

パソコンが再起動されます。

これで再インストールは完了です。

任意のサイズにハードディスク容量を分割して再インストールする

ハードディスク全体をフォーマットして、任意のサイズのCドライブとDドライブに設定し、Cドライブのみをご購入時の状態に復元します。

この操作では、Dドライブにバックアップしているデータはすべて削除されます。フロッピーディスクやCD-Rなどにバックアップし直してください。

1 **「Step1　セットアップユーティリティの設定を変更する」（☞160ページ）の手順1〜6の作業をします。**

作業が終了し、パソコンが再起動された後、 次の画面が表示されます。

2 **[↑] [↓] キーで「C:ドライブとD:ドライブのサイズを指定して復元します」を選択し、[Enter] キーを押します。**

3 [↑] [↓] キーで C ドライブの容量を選択し、[↵] キーを押します。

4 [↑] [↓] キーで「ハードディスクの復元を開始」を選択し、[↵] キーを押します。

ハードディスクのフォーマット（初期化）と内容の復元が始まります。

フォーマット中および復元中は、画面に進行状況が表示されます。「ファイル”R:＼MEBIUS.002”が入っているメディア 2 をドライブ R: に挿入してください」と表示されるまで、何も操作しないでください。再インストールを途中で中止してしまうと Windows を起動できなくなります。その場合は、手順**1**から再インストールし直してください。

5 **「Step2　プロダクトリカバリ CD-ROM の内容を再インストールする」（☞163 ページ）の手順 3 に進みます。**

ハードディスク全体を再インストールする

ハードディスク全体をフォーマットして、ご購入時の状態に復元します。C ドライブと D ドライブの容量はご購入時の状態になります。

この操作では、D ドライブにバックアップしているデータはすべて削除されます。フロッピーディスクやCD-Rなどにバックアップし直してください。

1 **「Step1　セットアップユーティリティの設定を変更する」(☞160ページ)の手順 1 ～ 6 の作業をします。**

作業が終了し、パソコンが再起動された後、 次の画面が表示されます。

2 **[↑] [↓] キーで「ハードディスク全体をご購入時の状態に復元します」を選択し、[⏎] キーを押します。**

3 ↑ ↓ キーで「ハードディスクの復元を開始」を選択し、⏎ キーを押します。

ハードディスクのフォーマット（初期化）と内容の復元が始まります。

ご注意

フォーマット中および復元中は、画面に進行状況が表示されます。「ファイル" R:＼MEBIUS.002" が入っているメディア 2 をドライブ R: に挿入してください」と表示されるまで、何も操作しないでください。再インストールを途中で中止してしまうと Windows を起動できなくなります。その場合は、手順**1**から再インストールし直してください。

4 **「Step2　プロダクトリカバリ CD-ROM の内容を再インストールする」（☞163 ページ）の手順 3 に進みます。**

付録 アプリケーションソフトを削除する・再インストールする

ここでは、パソコンにインストールされているアプリケーションソフトを削除する、または削除したアプリケーションソフトをパソコンに再インストールする方法について説明します。
付属のアプリケーションソフトを再インストールするときは、別売のCD-ROMドライブユニット（CE-CD02）が必要です。

アプリケーションソフトを削除（アンインストール）する

ハードディスクには、いろいろなアプリケーションソフトがインストールされていますが、ハードディスクの空き容量をもっと増やしたい場合や、アプリケーションソフトに不具合が発生した場合は、以下の手順でアプリケーションソフトを削除してください。

ご参考

- 削除しようとするアプリケーションソフト、またはその一部のアイコンがタスクバーに表示されている場合は、終了させておいてください。
- 市販のアプリケーションソフトなどの削除方法については、アプリケーションソフトの説明書を参照してください。

1 **起動しているアプリケーションソフトを終了させます。**

2 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。**
「アプリケーションの追加と削除」画面が表示されます。

3 **削除したいソフト名をクリックして選択し、[追加と削除]をクリックします。**

4 **画面の指示に従って、削除します。**

削除したアプリケーションソフトを再度インストールする

次の手順に従って「オンライン再インストール説明書」を表示して、インストールしてください。

ご参考
市販のアプリケーションソフトなどのインストール方法については、アプリケーションソフトの説明書を参照してください。

1 **付属の「アプリケーション CD-ROM ディスク 1」、または「アプリケーション CD-ROM ディスク 2」をドライブにセットします。**
「オンライン再インストール説明書」が表示されます。
「オンライン再インストール説明書」が表示されない場合は、以下の手順で表示させてください。
① スタートメニューから「ファイル名を指定して実行 ...」をクリックします。
② 「名前」欄に R:¥SHPHELP¥INDEX.HTM と入力し、[OK] をクリックします。

2 **インストールしたいソフト名をクリックし、画面に表示された手順に従ってインストールしてください。**

付録

各部の名称

前面

状態表示ランプ
（☞次ページ）

電源ボタン
（☞19ページ）

マイク

ディスプレイ
（☞93ページ）

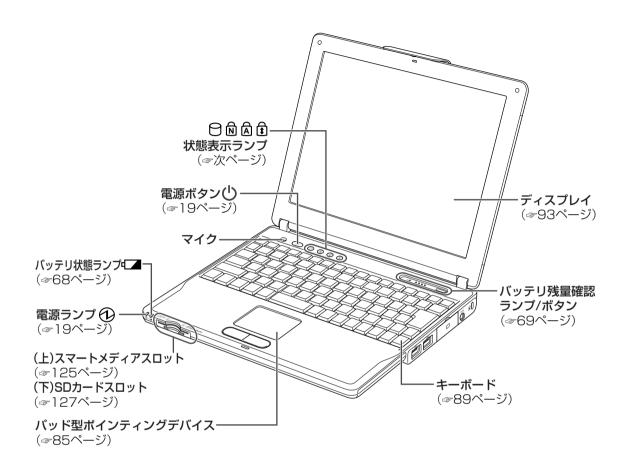
バッテリ状態ランプ
（☞68ページ）

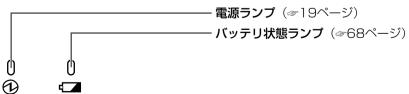
バッテリ残量確認ランプ/ボタン
（☞69ページ）

電源ランプ
（☞19ページ）

(上)スマートメディアスロット
（☞125ページ）
(下)SDカードスロット
（☞127ページ）

キーボード
（☞89ページ）

パッド型ポインティングデバイス
（☞85ページ）

電源／バッテリ状態ランプ

電源のオン／オフ、バッテリの充電状態がわかります。

電源ランプ	緑点灯	電源が入っている。
	緑点滅	スタンバイ状態。
	消灯	休止状態または電源が切れている。
バッテリ状態ランプ	**ACアダプタを接続しているとき**	
	緑点灯	バッテリが満充電されている。
	オレンジ点灯	バッテリを充電中。
	オレンジ点滅	バッテリまたはパソコンの充電回路に異常がある。
	ACアダプタを接続していないとき（電源オン状態）	
	赤点灯	バッテリ残量が少ない。
	赤点滅	バッテリ残量が非常に少ない。 同時に警告音が鳴り、そのまま使い続けると電源が切れる。
	消灯	休止状態またはバッテリ残量がある。
	ACアダプタを接続していないとき（電源オフ状態）	
	消灯	常に消灯状態になります。

状態表示ランプ

ハードディスクにアクセス中に点灯するランプと、キーボードの入力モードを表示するランプがあります。

ご注意

ランプが点灯中は、電源を切らないでください。データが失われたり、破壊されることがあります。

右側面

ディスプレイコネクタ
（☞105、117ページ）
盗難防止ホール
（☞147ページ）
USBコネクタ
（☞105ページ）
ACアダプタジャック
（☞18ページ）

左側面

モデムジャック
（☞25ページ）
USBコネクタ
（☞105ページ）
マイクジャック
（☞66ページ）
LANジャック
（☞50ページ）
ヘッドホン／
オーディオ出力ジャック
（☞61ページ）
PCカードスロット
（☞121ページ）

底面

RAMボードスロットカバー
(☞129ページ)
バッテリパック
(☞68ページ)
通風孔
(☞5ページ)
リセットスイッチ
(☞151ページ)
内蔵スピーカ

付録 さくいん

記号・アルファベット

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行